



No. 6

昭和46年3月 初版
昭和47年8月 改訂版
昭和48年2月 改訂版
昭和49年1月 改訂版
昭和50年8月 改訂版

各国事情のしおり

——インドネシア編——

-1975-

国際協力事業団



は し が き

本冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として事業団海外事務所からの調査報告をもとに作成したものである。

本冊子は、事業団海外事務所の役割、専門家に対する要望事項について記すとともに、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣食住、気候、教育、公共施設、治安、対日感情等を重点に作成した。

なお各項目については、今後も適時修正を行なってゆくこととするが、本冊子が同国に赴任される専門家の何らかの参考になれば幸いである。

昭和50年8月

JICA LIBRARY



1014317[0]

国際協力事業団

総務部長 松原 進

国際協力事業団	
受入 月日 '87. 2. 9	108
登録 No. No. 08268	20
	GA

目 次

第1部 国際協力事業団海外事務所	1
第1章 海外事務所の役割	1
第1節 技術協力実施に関する業務	1
第2節 専門家等の世話および監理	1
1. 専門家等の赴任当初の業務	1
2. 専門家等の任期中の業務	2
3. 専門家等の帰国時の業務	3
第3節 研修員の日本への派遣業務	3
第2章 専門家に対する要望事項	4
第2部 任 国 事 情	7
第1章 住 宅	7
1. 貸 家	7
2. ホ テ ル	11
3. 下 宿	13
第2章 日 常 生 活 品	14
1. パ ッ サ ー ル	14
2. 食 料 品	15
3. 衣 料 品	25
4. 家 具 ・ 什 器 ・ 雑 貨 品	31
第3章 保 健 衛 生	35
1. 環 境	35

2. 医療施設	39
3. 医薬品	41
4. 健康管理	42
5. 理容・美容院	44
第4章 子弟の教育機関	45
第5章 交通・通信	48
1. 交通	48
2. 通信	54
3. 運送	56
第6章 使用人	58
1. 家事使用人	58
2. 運転手	63
第7章 光熱・水道	64
1. 電力事情	64
2. 水道事情	65
3. 家庭用燃料	66
第8章 通貨ならびに為替	67
1. 通貨	67
2. 為替	68
第9章 出入国管理	69
1. 出入国、外人登録およびビザの更新	69
2. 税関検査	70
3. 国際的禁止品以外の持込禁止品および持出禁止品	72
第10章 便宜供与	73
第11章 言語・刊行物および放送	75

1. 言 語	75
2. 刊 行 物	76
3. 放 送	79
第12章 気候・治安および風俗・習慣	80
1. 気 候	80
2. 政情・治安	81
3. 風俗・習慣	84
第13章 娯楽・レクリエーションおよびスポーツ	91
1. 娯楽・レクリエーション	91
(1) ジャカルタ案内	91
(2) 海 水 浴	100
(3) ボーリング場	103
(4) ゴルフ場	103
(5) 遊 園 地	103
(6) 動物園・植物園	105
(7) 映画館・その他	105
2. 日本人クラブ	106
3. スポーツクラブ	107
附 録 土 産 品	109
第3部 インドネシアに対するわが国の技術協力実績	111
第4部 海外事務所等連絡先	129

インドネシア共和国

- ☆面積 149.2万km²
 - ☆人口 12,100万人(1973)
 - ☆首都 ジャカルタ(Jakarta)
 - ☆通貨単位 1米ドル=415ルピア
 - ☆宗教 回教徒が殆どである。
 - ☆公用語 ジャバネズ語、インドネシア語。
 - ☆住民 インドネシア人、中国人など
- 1967年4月アメリカのフリーポート・サルファー社が第一号としてイリヤンジャヤ鉱山開発に乗り出すなど、各国の援助も積極化している。



国

和

共

ア

シ

ネ

ド

0km 250 500

第 1 部

国際協力事業団海外事務所

第 1 章 海外事務所の役割

第 1 節 技術協力実施に関する業務

1. 相手国政府よりの下記要請内容についての必要調査および在外公館との協議、意見の具申ならびに在外公館と協力し、相手国政府関係機関への必要な連絡、協議
 - ① 専門家派遣
 - ② プロジェクト協力
 - ③ 各種調査団派遣
 - ④ 機材供与
2. 技術協力事業の実態把握、専門家等よりの意見聴取ならびに問題点の解明
3. 技術協力事業の実情調査および効果測定
4. 調査団、専門家等の現地受入準備
5. 機材引取の側面的協力
6. 専門家等の災害補償および共済給付に関する業務
7. 必要文書の受授、発送および保存に関すること。
8. 技術協力事業に関する資料の収集、整理及び本部への報告
9. 技術協力事業の P R

第 2 節 専門家等の世話および監理

1. 専門家等赴任当初の業務

(1) 専門家および家族

- ① 空港への出迎え
- ② 宿舍の手配
- ③ 大使館および勤務先への紹介、打合せ
- ④ 滞在許可の取得（3カ月以上滞在者）
- ⑤ 自動車の免税購入のための手続
- ⑥ 免税店における購買カードの発給申請
- ⑦ 業務用別送機材、私物荷物、引越荷物、郵便小包等の無税輸入許可申請、取得
- ⑧ 現地事情のオリエンテーション、住宅および生活相談
- ⑨ アナカン等の別送荷物の引取りのための引取業者（Customs Broker）の紹介および住宅を探すためのブローカーの紹介

(2) 調査団

- ① イ側と事前打合せおよびアポイントメントの取付け
- ② 空港への出迎え
- ③ 宿舍の手配
- ④ 大使館および関係先への紹介、打合せ
- ⑤ 必要により、現地調査に同行
- ⑥ 必要により、イ側に提出する暫定報告書作成に協力
- ⑦ 滞在許可および出国許可の申請、取得

2. 赴任中の業務

- ① 本部へ送付する業務報告書、事務連絡の写を提出してもらう。報告書は大使館関係者に回覧の後、当事務所で保管する。（ジャカルタ在住の専門家はオリジナルおよび写、計2部を提出のこと。報告書等提出文書はすべて黒インク又は黒ボールペンを使用すること。）

- ② 住宅等調査表、療養費給付請求書の確認、証明
- ③ 現地業務費プール分支出申請の承認および経費の支払。
- ④ 専門家の活動状況の把握および実施上の問題点の改善
- ⑤ 専門家および家族の滞在許可の更新（1年毎に必要）
- ⑥ 外領等マラリア発生地区へ出張者に対する予防薬の配布
- ⑦ その他専門家の業務遂行を円滑にするための連絡調整ならびに生活相談

3. 帰国時の業務（含む一時帰国）

- ① 出国許可の申請、取得（約1カ月前に旅券を事務所に提出のこと）
- ② 一時帰国の場合は、出国許可、再入国ビザの申請、取得
- ③ 免税購入カードの返還（帰国時には必ず事務所へ返還のこと）
- ④ 帰国時、途中立寄りを希望する場合の渡航先追加依頼
- ⑤ 別送荷物の免税許可申請、取得（申請に当っては本人より Invoice, Packing List 各7部を提出すること）
- ⑥ 自動車売却のため、指定業者の紹介

○参 考

滞在許可をとる際は写真1枚（専門家、家族それぞれ）を必要とする。その他、イ側の省によっては労働許可証をとるよう指示されることもあり、写真は10枚程度持参すると便利である。

第3節 研修員の日本への派遣業務

- 1. 研修案内（General Information）の配布
- 2. 要請書の内容の確認、日本への発送
- 3. 面接審査
- 4. 受人決定の通知
- 5. オリエンテーション

6. 日本国のV I Z A取得の封助
7. 航空券の確認
8. 渡日日の決定、連絡
9. 帰国研修員に対するアフターケア
10. 帰国研修員の同窓会活動の援助

第2章 専門家に対する要望事項

1. インドネシアは大部分が回教徒であり、生活様式、習慣が日本のそれと異なるので、理解に苦しむことがしばしばおこる。(第2部第12章風俗、習慣の項参照)インドネシア人にとっては当然のことであってもわれわれ日本人には理解しがたいことが多く、反面われわれの日常の言動が無意識のうちに相手をキズつけることがある。インドネシアに来た以上は彼等の風習を理解し、その上で、日本人として常識ある態度で接する必要がある。
2. 専門家として派遣された場合、日本人同志ないし、職場のカウンターパートや近隣の人達とお互いに親しくかつ協力する必要があるのは当然であるが、最終的には頼れるのは自分自身以外ないので、その自覚をもつこと。

赴任は、短期旅行と異なり、気候、風土、言語、習慣等の異なる地域での長期に亘る生活においては幾多の苦勞、困難に当面する。これらのきびしい条件を克服する強い意志と覚悟がなければ、協力の実を上げることは出来ない。

相手の非をなじり、ささいなことに怒ったり、落たんしては問題の解決にはならない。すべてが日本と同じような条件を求めても、高望

みである。与えられた環境の中でよりよい結果を生む不撓の努力こそが要求される。

3. 海外で仕事をする場合、日本のように細分化された専門分野のみの知識を求められるのと異り、専門外にわたる分野においても幅広い知識を求められることが多い。

この場合、グループで派遣される場合はまだお互いにカバーし合えるが、それでも必ずしもすべての専門家が揃っているわけではない。まして個人で派遣される場合は、相手側から全く専門外のことについて、きかれたり、教えを乞われることがある。例えば農業普及の専門家が農業経営について質問されることや、業務をカバーせねばならないことなどがある。このような場合、専門外とはいえ、知らないでは済まされない。勿論1人ですべてをカバーすることは出来ないと思うが、専門書やJICAおよび所属元等の協力を得て解決するよう最大限の努力をする者が専門家である。

4. 専門家は膨大な仕事量と取組まねばならない。特にプロジェクト進行段階ではコンサルタントから現場監督まで要求される。相手国スタッフと共同で国情に即した考え方、技術開発を行なうよう努めること。

即ち、開発途上国は、開発計画に必要な資料や基礎研究が不足ないし遅れており、かつ資金やマンパワーが不十分である。出来る限り現地の材料や労働力を利用した計画を組むなど、経済性を重視する必要がある。

わが国での業務に比して専門家の活動の場は決して恵まれた環境ではない。その中で何がなし得るかを考え、積極的に業務に取り組むべきで、相手の非をなじるだけでは、相手にとっても、専門家本人にとってもマイナスの時を過す結果となる。

5. 日本人は概して国際社会での交際が上手でないという定評がある。し

ばしば指摘されているように日本人のみの閉鎖社会を形成せず、業務等を通じて知合ったインドネシア人ないし近隣のインドネシア人およびその他の外国人と出来るだけ交際の幅を広げることが望しい。交際が相互理解の大きな助けとなる。

6. グループ派遣の専門家は往々にしてチームワークが問題になる。チームリーダーの指導の下にお互いに与えられた使命を深く認識し、小事にこだわらず、建設的意見はお互いに尊重して協調の精神を第一とすることは言うまでもない。日本における社会的重圧がかなり軽減されているような錯覚に陥り易い異国にあっては、このような当り前のことが特に大事である。

7. 専門家としての誇りをもつとともに、みだしなみ等体面に気をつけること。ジャカルタ市内の日本人は正確にはつかめないが短期旅行を含めると4,000人～5,000人といわれており、レストラン、ゴルフ場、ナイトクラブ等何処へ行っても日本人が非常に多いので、その行動はとかく目につきやすい。ゴルフ場で更衣室を利用せず、ロビーで着替えている者がいたとか、レストランで泥酔したり、大声でわめいたり、ナイトクラブや、映画館へ半ズボン、サンダルばきで行ったというような非難の投書が寄せられている。

インドネシア人にとっては、レストランや映画館は高級社交場であり嗜着を着て集まる場所である。日本人としての良識ある行動をとって欲しい。

第2部 任国事情

任国一般事情と銘打っているが、内容はジャカルタ中心であり、ジャカルタ一般事情である。

いずれ他の地域にも同様の資料を集め、本しおりの内容を充実する所存である。

第1章 住 宅

1. 貸 家

(1) 入手状況

経済開発政策の進展に伴い、各国の商社員、技術員の進出が益々激しく、住宅に対する需要過多の状況が続いており、これに対し供給はほんのわずかであり、家賃は年々急激な上昇カーブを描いている。このような事情から家主は益々強気で契約の長期化傾向が著しく最近では2年契約は短期として、あまり良い顔をしなくなって来ている。しかし、家賃および好みについて難しい条件をつけない限り入手は全く困難というわけではない。

(2) 貸家斡旋業（ブローカー）

個人住宅の貸借のため看板を掲げて不動産業ないし、貸家斡旋業を営む者は皆無である。営業許可を必要としないため、役人や会社員の夫人がアルバイトとして従事しているのが一般的である。しかし、相当の高収と想像されるだけに非常に熱心で普通これらのブローカーを利用した方が入手は容易である。手数料は契約総額の5%といわれているが、一

一般的にはこれは家主負担である。勿論この分が家賃に上乗せされているものと思われる。家を探す際はブローカーにこちらの条件、例えば、地域、大きさ、家賃の額、契約期間、電話の有無等を提示すると、条件に見合った家を次から次へと案内してくれる。

専門家が一般的に利用しているブローカーは次のとおり

Mrs. Tilita Jl. Compaka 27. Tomang	tel 159337
Mrs. Syarif	tel 1582897
Mrs. Gunawan	tel 174140
Hiss, Dewi	tel 170751
Mrs. Suwari Jl. Kebaren VII-21, K. B.	

ブローカーは多くの場合重複した家を紹介してくるので最初から何人も口をかけることは得策とはいえない。あるブローカーが紹介したものが気に入らない場合には次に移るといふ方がトラブルが少ないようである。気に入らなければ断ることは全く遠慮はいらない。又案内に対する手数料は不要である。

(3) 賃貸方法

賃貸方法は全額一括前払いである。期間は最低1年以上であるが、賃貸期間の長さに比例して割安になる。例えば、1年契約で1カ月600 Sの場合であれば、2年契約で500 S/月、3年契約で400 S/月と1年違うごとに100 S/月位の差がある。いずれにしても、長期前払いのため、契約後気に入らないから出るというわけにはいかないので慎重に選択、決定する必要がある。契約条件として、家の1部手直し、修理箇所がある場合は、それを終了する期間、手付金を支払い、残金は工事終了後支払うようにすると良い。この場合の支払いの金額等については家主との話し合いによる。

(4) 家賃

家賃は地域により異なるので一概にいえませんが、ジャカルタ在住日本人専門家の大部分が居住しているクバヨランバルー (Kebayoran Baru) 地区を例にとると、標準的に考えて、2~3 寝室、居間、食堂および使用人部屋、家具付きで大凡次のとおりである。

1 年の場合	700~900 \$
2 年の場合	600~800 \$
3 年の場合	500~700 \$

一般的には貸家はほとんど家具付きで、内容は、ベッド、洋服ダンス、サイドボード、応接セット、机、冷蔵庫、扇風機であり、他にクーラーのついている家もある。又、電話がついている同程度の構成の家で100 \$位は高くなる。

(5) 住宅選定の条件

- ① 電気の供給容量が大きいこと。(2~3 Kw 以上)
- ② 水道と井戸の両方があることが望しいが、水道のない場合が多いので井戸は深く水質の良いこと。
- ③ 家主の人柄が良く金持であること。(修理が必要な場合すぐ直してくれる)
- ④ ベチャのたまり場に近くないこと。(物騒であり、うるさい)
- ⑤ モスク(回教寺院)に近くないこと。(早朝よりのお祈でうるさい)
- ⑥ 大通りからはなれていること。(騒音)
- ⑦ 家具付か否かをはっきりさせ、又改修箇所があれば事前に直させること。
- ⑧ 周囲の環境が良いこと。(カンボンに近くなく外国人が多いところ)

- ⑨ 電話を希望する場合は既についている家に入ること。(居住後つけさせることはかなり困難)
- ⑩ 寝室と隣家の窓が近くないこと。
- ⑪ 土地の低いところでは雨季に浸水することがあるので、乾季に住宅選定する際は十分留意すること。
- ⑫ ゴミ箱が整っているかどうかも重要である。

以上の他に家族構成により庭の大きさとか、ガレージの大きさ等いろいろあると思うが、これらの条件をすべて満たすことは不可能である。各人がその生活上最も大切と思う点を決め、選定の参考として欲しい。

(6) 契約上の注意事項

1) 当該住宅の所有者の確認

確認方法としては①信頼出来る知人、友人ないしブローカーの証言、②家の権利証の確認、③過去1年間の電気、電話等の料金領収証による確認、④契約の際の公証人の立会い(手数料は契約金額の1%)
公証人の立会が一番確実であるが、家主は税金対策上嫌うケースが多い。

2) 契約内容

一般的に金額、期間、住所等は当然もり込むが、特に留意した方がよいと思われるものに次のようなものがある。

① 居住権の継承

当該専門家が契約期間内に帰国等で使用出来ない事態に立至った場合、後任者等が残存期間、同一条件で居住出来るようにすること。
(残存期間の金を返してもらうのが一番良いが、家主は9分9厘返してくれない。返した例を聞いたことがない。)

② 修理義務

雨もり、配電線、排水管の故障等基礎的、構造的修理は家主負担とし、借家人より連絡した場合、家主は24時間以内に修理することを義務付けること。

③ 契約金支払いの一部留保

家屋の改装ないし特定の家具をつけることを条件とした場合は、家主が契約条件を履行するまで、契約額の2割等一定の金額の支払いを留保すること。

2. ホテル

ジャカルタでは1974年の4月のPATA(Pacific Area Travellers Association)を境にホテルラッシュで、1974年に入って営業を開始した主なホテルは4、現在建設中5、増築完了1、増築中1、(1974年4月1日現在)の多数にのぼる。

従来よりジャカルタは東南アジアで最もホテル代が高く、その上施設が悪い、部屋数が少ない等悪評であった。事実、1973年までのホテル事情を概括すると、外国人が泊れるようなものは、まずまずのものを入れても30弱、総部屋数2,500前後であった。このうち主なものはすべてシングル1泊で20米ドル以上であり、値段も高い。

一方、1974年に入り営業開始したホテルは超高級のボロブドゥール866室を筆頭に部屋数においてすでに2,000室を越えており、従来の需給バランスは大巾に改善されたといえよう。しかしながら部屋代は1974年4月のPATAの会議を契機にほとんどのホテルが2米ドル程度値上げしており、増々高くなったといえる。すべてのホテルは部屋代に10%のサービス料および11%相当の税金が加算される。

このように高い点もさることながら、家族連れでの長期にわたるホテル

住いはいかた不便でもあり、専門家が赴任する際は、当初単身赴任とし、住宅が決ってから家族を呼寄せの方が得策である。但し、任期1年未満の専門家が単身で赴任する場合、2流どころのホテルと長期契約し、割引をしてもらえば、住宅をかりるよりは比較的安くつくであろう。

外国人が宿泊出来る程度の主要ホテルは次のとおり

ホテル名	住 所	電 話	部屋数	施設・設備	料 金
Indonesia	Jl. Thamrin	40021-29	666	A	A
○Borobudur	Jl. Lapangan Banteng Selatan	357511 357611	866	A	A
◎President	Jl. Thamrin 59	54912-5	354	A~B	A
○Sahid Jaya	Jl. Jendral Sudirman	581220 777150-9	500	A	A~B
Ambassador (ARYADUTA)	Jl. Prapatan 44-46	357635-4 45956	270	A	A
Kartika Plaza	Jl. Thamrin	54644-7	333	A~B	A
◎Asoka	"	42091-95	87	B	A~B
◎Saban Metropolitan	Jl. Agus Salim 11-A	54031-9	114	B	A
Marcopolo	Jl. Cik Ditiro 19	45028	182	C	C
◎Menteng	Jl. Gondangdia Lama 28	40671 53936	60	C	C
◎Asri	Jl. Pintu Satu, Senayan	58073-9 582654	60	C	C
○Golf Court	Jl. Patal, Senayan	582897		C	C
City	Jl. Medan Gidok	272981-5	200	A~C	B~C
◎Inter-house	Jl. Merawai Raya	70486	46	B~C	B~C
◎Dirgantara	Jl. Iskandarsyah Raya	73522	36	C	C
◎Benjamin	"	71226	15	B	C
◎Prapanca	Jl. Prapanca Raya	72656	34	C	B~C
○Kemang	Jl. Kemang Raya	776160-64 777721-25	100	A~B	A
Ramayana City	Jl. Jati Baru 57	50758 45866	51	C	B
Gajah mada	Jl. Gajahmada 27-A	270371-6	110	C	C
Jayakarta	Jl. Hayam Wuruk 126	27253-	70	C	B

- 注1. ◎印は日本人専門家が従来比較的多く利用しているところ。
2. ○印は74年に新規営業開始したところ。
3. 施設、設備は、Aは国際級、Bは準国際級、Cはまずまずのホテル級に分けた。
4. 料金はシングル利用を基準とした基本料金でAは18ドル以上、Bは15ドル以上18ドル未満、Cは15ドル未満。これに21%の税金サービス料が加算される。
5. ヒルトン、東急、ダイヤモンド等の大ホテルが建設中である。

3. 下 宿

当地にはいわゆるアパート形式の住宅は公務員用の官舎以外はない。しかし1軒の家で、小さい部屋をいくつか持って、下宿業を営んでいる者はいくつかある。

日本人が多く利用している主な下宿屋は次のとおり

○ Kikugawa Jl. Cutnyakdien 5 telp 41339

部屋代 \$ 450 / 月 食事 2 食込み、朝はパン食、晩はレストラン菊川の食事が出る。

部屋数は6室。各室クーラ風呂付。

駐車場10台程度までは可。

○ Nyonya Riupassa Jl. Ir. Juanda III / 36 telp

42652

部屋代は洗濯、市内電話料込みで \$ 200 / 月、食事は2食(日曜日は3食)付で \$ 150 / 月。

部屋数は7室、各室扇風機付、風呂は3つあるが1つは1人専門で他の6人が2つを共同利用。

駐車場はカレッジは3台分であるので、入り切らない場合は路上駐車

とする。その際は夜警を雇い、1晩中監視させるとのこと。

この他にインドネシア人が下宿業を営んでいる例もいくつかある。食事にぜいたくをいわない向きは比較的安いのでこれに当たってみるのもインドネシアを理解する上や、言語を習得する上で面白いと思う。

第2章 日常生活品

1. パッサール (Pasar)

ジャカルタの商店は地域毎にほとんど1カ所にかたまって商店街(市場)を形成しており、これをインドネシア語でパッサール(市場という意味)と呼んでいる。パッサールは一定の地域毎に必ずあり、住民の生活に寄与している。形態は大小様々あり、それぞれ若干異った特徴があり、パッサールをのぞき歩くことは楽しいものである。店の大部分は非常にわずかな売場面積をもっているにすぎず、零細小売業者が集って、一大市場を形成しているわけである。取扱品目は、それぞれのパッサールによるが、どこでも食料品、衣料品、雑貨は扱っており、大きいものになると電気製品、書籍、おもちゃ等の店もある。

外国人が利用している主なパッサールは次のとおり。

パッサール名	特 徴
Pasar Block M (パッサールブロックエム)	クバヨランバルーの中心部にある大パッサールで、ほとんどすべてがここで揃えることができる。
Pasar Majestic (パッサールマジェスティック)	クバヨランバルーにある大きなパッサールで魚類が新鮮で良いものがある。
Pasar Block A (パッサールブロックアー)	外国人の利用は少ないが、一とおり何でも揃っている。
Pasar Cikini (パッサールチキニ)	生鮮食料品、中でも魚類と果物類の良いものがある。

Pasar Senen (パッサールスネン)	4階建大パッサール。建物は市営。商品は豊富であるがこの地域は若干物騒な事件がおこることがある。
Pasar Baru (パッサールバルー)	インドネシアの最高級商店街。各種高級品が入手可能。最寄りのパッサールで入手出来ないものはここで探すといふ。
Pasar Glodok (パッサールグロドック)	コタの中国人街にあり、特に衣料品が非常に豊富。

どこのパッサールで買物するにしても一応値切る必要がある。店によっては2倍以上ふっかけるところもあるので注意すること。

この他にスーパーマーケットがいくつかある。ブロックMの周辺だけでも数カ所ある。いずれも品数は比較的豊富であり、値段はパッサールで値切ったものよりは若干高いようだが定価販売なので安心して買える。

デパートは国営のものが1店だけある。あまり利用者は多くない。

○サリナ(Sarina)デパート J1.Thamrin

2. 食料品

(1) 食料品事情

食料品は一般に豊富であり、パッサールのすみずみまで探すと、こんなものもあるのかと以外に思うようなものまである。缶詰等の保存のきくものは日本製品その他欧米、オーストラリア等の製品もかなり多く出廻っている。生鮮食料品は、だいたい日本と同じものがあるが、現地産のものは肉、野菜、魚、どれをとっても味においては一段落ちるようである。

(2) 日本食品の入手状況

日本食品を扱っている店はクバヨランバルー地区を例にとると最大手は免税店" Bumi Ayu "で相当に品数は豊富である。その他数店のスーパーマーケットはいずれも日本品コーナーがあり、いくつかの日本製

品を揃えてある。

これらの店では、しょう油、味噌、食用油(天ぷら油、サラダ油、ゴマ油)、茶、のり、ソース、酢、カルピス、めん類、インスタントラーメン、つくだ煮類、その他サケの缶詰、ウニのビン詰類等多々あり、入手可能。日本品の価格は一般に日本の3~4倍程度である。免税店は市価の2割から5割引で購入出来るが、入荷の関係で時々品切れになることがある。免税店は免税カードを持参する必要がある。

免税店は次のとおり

○ BUMI AYU

○ P. T. GUNVNG AGUNG Jl. Kwitang 6 tel 54566

○ DIPLOMATIC SHOP Jl. Pekalongan 24

日本人の利用の多い肉を主体とするスーパーマーケットがある。この肉は一般パッサールのものと比して価格は2倍ほどであるが新鮮であり、衛生的である。

○ Kem Chicks Jl. Kemang Raya 3

食料品価格表

昭和50年5月1日現在

品名	単位	価格RP	備考
米	1Kg	220~250	スーパーマーケット10lbs 1,200RP, チャンジュール米
味噌	1Kg	1,500	スーパーマーケット、日本製 免税店にもある。
ケチャップ	1ビン	300	"
しょう油	1本(2L)		"
てんぷら油	1缶(1.4Kg)	2,600	"
サラダ油	1缶(1.4Kg)	2,600	"

品名	単位	価格RP	備考
酢	1ビン (30oz)	850	日本製、スーパーマーケット 免税店にもある。
砂糖 (上質)	2lbs	550～600	スーパーマーケット 免税店にもある。
ザラメ	2lbs	225～250	スーパーマーケット
塩	500g	50	
小麥粉	1kg		
ソース	1本		
バター	12oz	500～525	スーパーマーケット、免税店 にもある。
チーズ	10oz	400～500	"
豚肉	1kg	1,700	ケムチックス
牛肉	1kg	1,700	"
とり肉	1kg	2,000	"
卵	1kg	550	"
えび	1kg	2,200	パッサールマジュスティック
小えび	1kg	1,000	"
いか	1kg	500	パッサールマジュスティックス
かれい	1kg	400	"
アジ	1kg	500	"
サワラ	1kg		"
マグロ	1kg	500	"
カツオ	1kg	500	"
食パン	1袋	150	スーパーマーケット

品名	単位	価格RP	備考
コーヒー(ネスカフェ)	1ビン		スーパーマーケット
ジャワコーヒー	100g	100~150	パッサール
紅茶	1kg		
アイスクリーム	2ℓ	1,250	スーパーマーケット
さつまいも	1kg	50	
じゃがいも	1kg	90~100	
にんじん	1kg	150	
キャベツ	1コ中	150	
きゅうり	1kg	150	
トマト	1kg	150	
カボチャ	1コ中	100	
たまねぎ	1kg	600	
ながねぎ	1kg	150	
カリフラワー	1コ中	100	
レタス	1kg	150	
大根	1kg	125	
ナス	1kg	200	
ごぼう	1kg	1,000	ケムチェックス調べ
ピーマン	1kg	1,000	"
ハス	1kg	600~700	
白菜	1コ中	100	
くら	1束	40	

品名	単位	価格RP	備考
もやし	1袋	25	
豆腐	1切	35	
ギョーザ	1コ	30	
スルメ	1		
笹かまぼこ	1コ	50	
パイナップル	1コ中	100~150	
パパイヤ	1kg	75~100	
ジュルック	1kg	400	
ジュルック パリ	1kg	400	ザボンと似ている。赤と白があり白がおいしい。
オレンジ	1kg	900	
みかん	1kg	800	日本のみかんに似ている
リンゴ	1kg	500~800	数種類あり
バナナ	1本	20~50	数種類あり
スイカ		100~150	1月~9月、小さいがおいしいものもある。
マンゴ	1コ	100~120	7月~10月、ドリアンと並んで果物の王様。
マンゴン スチ	1kg		10月~4月、果物の女王
ドリアン	1コ	500~700	10月~2月、香りが強烈
サオー	1kg		10月~4月、皮はジャガイモのようだが非常に甘い。
ジョニーウ オーカー黒	1本	4,000	免税店にあり
ジョニーウ オーカー赤	1本	2,000	"

品名	単位	価格RP	備考
ビール	1本 (大ビン)	200	
タバコ (アメリカ)	1箱 20本入	250	免税店にあり、但し10箱入 を買うと免税店以外でも 1,700RP程度で買える。
タバコ (マスコット)	1箱 20本入	140～150	定価は90RPであるが、町 で買うと店によって値が異なる。

(3) レストラン

ジャカルタ市内には非常に沢山、かつ、ピンからギリまでのレストランがあり、インドネシア料理は勿論、中華料理、日本料理、韓国料理、各種西洋料理(フランス、イタリア)、そしてインド料理等を楽しむことが出来る。営業時間は一般的には11時から15時、18時から23時であるが、店によっては朝から営業しているところもある。又、楽団やフロアショーを楽しめるところも多々ある。

比較的日本人に人気のあるレストランを次に列記するが、その前にこれらレストランでの最低限度のマナーについて一言ふれておきたい。こゝでいうマナーとはいわゆるフォーマルなテーブルマナーではない。テーブルマナーについては専門家各位には十分御存知と思うので省略することとする。それよりつい忘れがちな簡単なマナーについてである。

- ① 日本人はお茶やみそ汁の熱いのをフーフーさましながらズーズルズルと飲むというよりすより込む習慣をもっている。
- ② 食べ乍ら話し、話し乍ら食べ、かつクチャクチャ音を立ててかむ人が多い。
- ③ 2人までだと比較のおとなしく食べているが、数人以上になると

あたりをはばからず大きな声を張り上げる。

- ④ ジャカルタは暑いので一流クラスのレストランへ半ズボンないしサンダルばきというスタイルで入る。

以上の点はフォーマルな会食の席上とは別にいかにもリラックスした時でも絶対に避けていただかねばならない最低限度のマナーである。

レストラン名	住 所	電 話	備 考
1) 日本料理			
○ 菊 川	Jl. Kebon Binatang 3-13	41808	最も古い日本料理店、価格はリーズナブル
○ よし子	Jl. Musium 1	53478	インドネシアの高官がかなり利用。
○ 葵	Jl. Suwiryo 23	48044	(ジャバングラブの移転で閉鎖中)
○ ふる里	Jl. Thamrin	54912	プレジデントホテル 2 階
○ 新ゆかり	Jl. Thamrin	51412	サリナデパート 1 3 階
○ みつよ	Jl. Sutan Syehrin 44	45331	高級イメージ
○ 京 王	Jl. Lapaugan Banteng		ホテルボロブドゥール内、高価
2) 韓国料理			
○ Korea House	Jl. Thamrin	42091	アソカホテル内、味は良い。
○ Soeul House	Jl. Agus Solim	54031	ホテルサバン内
○ Toragi House	Jl. Melawai 42	70843	スキヤキもある。

レストラン名	住 所	電 話	備 考
3) 中華料理			
○ Bamboo Den	Jl. Ir. Juanda 4	41099	Conti, Indon.
○ Hayam Wuruk	Jl. Hayam Wuruk 5	46650	
Kings Palace	Jl. Gajah Wacila 27A	22798	
○ Hong Kong	Jl. Blora		
○ Sky Room	" 5	44104	Showあり、日本大使館の利用多。
○ Prince	" 9	47060	
Mandarin	Jl. Jr. Juanda 19	45293	
Moon Palace	Jl. Melawai VI6		Indon
Hong Kong	" IV15	72344	
Oriental	Jl. Thamrin	40021-9	ホテルインドネシア内高級
Cahaya Kota	Jl. Wahid Hasyim 9	53015	インドネシア風 インドネシアの役人が 良く利用
Golden Room	Jl. Cokroaminoto		
Oriental	Jl. Cikini Raya 55		
Vics Viking	Jl. Thamrin	52452	Conti, Indon, Japan
○ Copacabana	Pantai Indah Ancol	271166	

レストラン名	住 所	電 話	備 考
Falamingo	Hailai Building Ancol	26069	
○ Fortuna	Jl. Pancoran 42	272420	
○ Gelden Pavilion	Jl. Thamrin	54912	ホテルプレジデント内
Kuong Tung	Jl. Mangga Besar 36A	24505	
Maxim	Jl. Thamrin	54787	ホテルカルチャプラザ内
Monglia Barbecue	Jl. Pintu Besi 21	42827	
Ruby	Jl. Ir. Juanda 4	50010	
Tropicana	Jl. Manila, Senayan	582447	
Sim yan			
Yun Nyan	Jl. Lorong C22	290240	
○ Barbecue	Jl. Melawai IV-19		庶民的、ギョーザあり、日本人利用多い。
4) 西洋料理	インドネシア料理他		
○ OASIS	Jl. Raden Saleh 47	47819	Eu, Indon、高級 スサントラビル28階
○ Sky Garden	Jl. Thamrin	54912	Eu 高級
○ Ramayana	"	40021	ホテルインドネシア内 Conti 高級
○ Sea Food Resturant	Jl. Melawai VII-14		Chinese, Sea Food

レストラン名	住 所	電 話	備 考
○ Tempo dulu	Jl. Melawai		Eu, Indon
Art & Curis	Jl. Kebon Binata- ng III - 8		Spanish
Cheg Maris	Jl. Ir. Juanda 23		Eu, Spanish Itali- an
Oki Doki	Jl. Sutan Shahrir I		Indon
Aneja	Jl. Senen Raya		"
○ Tropic- ana	Jl. Thawrin		プレジデントホテル内 Eu
Bayan- ihan	Jl. Yusuf Adiwin- ata		Philippine
Geliga	Jl. Wahid Hasyim		Indon
Le Co- rdon Bleu	Jl. Blora 24		French
High land	Jl. Thamrin		ホテルアソカ内 Eu
Pub, The	Jl. Palatehan I / 30-32		Italia 他
Oman Khayam	Jl. Antara V - 7	47197	Indon
Taj	Jl. Veteran I - 36	46471	"

定食の価格

昭和49年5月1日現在

	レストラン菊川	レストラン葵 (ジャバングラブ内)	故 里 (プレジデントホテル内)
玉子井	500 RP		800
親子井	600		800

	レストラン菊川	レストラン葵 (ジャパングラブ内)	故 里 (プレジデントホテル内)
天 井	600		1,100
か つ 井	600		900
牛 井	700		
鉄 火 井	700		
う な 井	800RP	かばやき定食 1,250	
う ど ん	400		(天ぷらうどん 800 肉うどん 800
そ ぼ	400		天ざる 800
そうめん	400		750
定食、普	1,300		和定食 4,000
定食、上	2,000		
天ぷら定食	1,000	1,000	A 1,800 B 2,300
刺身定食	1,000	1,000	1,100
とんかつ定食	1,000	900	1,100
幕の内定食		1,500	A 1,800 B 2,300
ぎょうざ定食			900
すきやき			4,000

3. 衣 料 品

(1) 衣料事情

ジャカルタ市観光局発行のパンフレットによると「ジャカルタは年間平均気温26℃、但し日中は32～34℃になることもある。かた苦しい町ではないので、背広、ネクタイは正式なパーティや会議以外には着

用の必要ない。薄手の通風のよい半袖シャツやスポーツシャツが最適である。」と記されている。事実インドネシアの役所では局長といえども普段はネクタイをしていない。従って衣類を準備する場合は、日本の夏を想像していたら十分である。衣類の種類はほとんど日本のそれと変わらず、何でも当地で入手可能である。しかし、デザイン等好みのものであるかは疑問なので、何でも一通り用意して来られることをおすすめする。

既製品としては男性用Yシャツ、下着類はインドネシア製、香港製、中国製で日本人の好みに合わないものが多い。又婦人用は洋服、下着とも豊富であるがデザインおよびサイズが適当なものがあるかどうかかなり疑問であり洋服などはむしろ仕立て注文をした方が良いものが得られるようだ。生地は男性にしても女性にしても大変豊富なので、パッサールを一巡すれば、気に入ったものを探せると思う。中でもパッサールグロドックは相当沢山の生地専門店を集めたパッサールである。又パティック(ジャワ更紗)は高級品から普段着用まで各種、無数にあり、男女を問わず、日本人にも大人から子供まで大変良く利用されている。

仕立ては洋服屋、ドレスメーカー等ピンからキリまで沢山ある。技術と価格が正比例するのはやむを得ないが、安い所では日本では考えられないような、間違えというか、いゝ加減な仕立てをするところもある。いずれにしても仮縫いなしが一般的なので、いろいろ言葉で注文した場合は期待はずれになることが多いので注意を要する。しかし、見本を示し、全く同じものを注文するとかなり正確に仕立てるようである。なおサリナデパート2階のレイ・ファッションスタジオは婦人用ドレス一般について元日本人の方がデザインし、仮縫い付きで上手に仕立ててくれる。(1着7,000~10,000 RP程度)

他の店では仕立て代は店により異なるが一般的にいて、日本の1/2から1/4程度であろうが、技術面では必ずしも日本人の好みであった結果を期待しにくい。

ジャカルタで入手しにくいものは、メリヤスの下着類、ステテコ、バジャマ、帽子（ゴルフ用はある）位か。女性用ネグリジェはあるが高価である。

(2) 必要衣類

何をどの程度持参するかは各自の生活方法や家族構成により異なるので、一概にはいえないが、決定に当っては日本の夏を想像し、それぞれで判断していただければ間違いない。その他特に注意すべきものについて若干列記すると次のとおり。

① フォーマルパーティは男子は背広、女性はドレス（ないし和服）

又はそれに準ずる衣装が必要である。例えば元旦の大使公邸での名刺交換会はフォーマルなスタイルで出席することとなっている。この場合和服を着用している婦人は10人に1人位の割合なので、和服を持参しなくとも肩身の狭い思いをすることは決してない。しかしインドネシア人とのパーティ（例え準フォーマルであっても）などに和服を着ていくと大変喜ばれるので1～2着用意することも一策である。なお、天皇誕生日は外国の公館員等を招待することを重点とする方針なので専門家は各チームのリーダー程度に限定されている。その他のフォーマルパーティは極くまれであり、男子の場合、背広を着る機会は非常に少ない。ある専門家は着任と帰任の挨拶の時だけしか着なかったという、うそとも本気ともつかない話があるが元旦に着なければ、そういうことも十分考えられる。一方婦人方は例えインフォーマルなパーティでも着飾っていききたい心理から男性と同様とはいかない。従って男性

は背広1~2着、女性はシルク又はシルキーのドレスおよびレースないしそれに準ずるようなドレス2~4着位あれば、最低2年間位は間に合せることが出来よう。勿論当地で仕立てることは可能である。インフォーマルなパーティには当地のパティックで作ったドレスを着用している例は多い。

衣 料 品

品 名	備 考
男子洋服地	入手可能、種類はかなり豊富。
仕立料金	日本よりは安い。但し仕立技術は若干落ちる。
背 広	入手可能だが、仕立が良くないので1~2着は日本より持参の方が良い。
ネクタイ	入手可能であるが、柄が日本人の好みに合わないものが多いので、数本持参した方が良い。但しインドネシアのオフィスではほとんど利用しない。但し専門家によっては毎日きちんと締めている例も少なくない。
ワイシャツ	ほとんど利用しない。既製品は種類が少ない。日本より持参した方が好ましい。
半ソデワイシャツ	既製品は種類が少ない。日本より持参した方が好ましい。事務所ではほとんど半ソデワイシャツである。
下 着 (アンダーシャツ、ランニングシャツ、パンツ)	種類が少なく好みに合ったものがないので、持参した方が良い。
スポーツシャツ	種類が少ない。日本より持参した方が良い。但しゴルフウェアは出廻っている。
男子靴下	入手可能なるも価格は日本より高い。日本より持参した方が良い。
ズ ボ ン	種類は豊富だが、仕立はあまり良くないので数本は持参した方が良い。但し普段着としては当地のもので十分である。

品名	備考
婦人服地	入手可能。種類はかなり豊富だが、好みが違うので気に入ったものを持参した方が良い。
仕立料金	日本に比して非常に安い。但し仕立技術は上手ではない。サリナデパート等一部の仕立は上手だがかなり値は高い。
ワンピース	種類は豊富だが、デザイン、柄等好みに合うものがあるかどうかは疑問。一般にはパディクを利用している人が多い。
ブラウス	種類は非常に少ないので持参した方が良い。但しあまり利用の機会は多くない。
セーター (薄手)	雨季、高冷地への旅行の際は利用の機会はあるが、1〜2枚で十分。当地にも少しはある。
子供服	種類は豊富、デザインと柄が好みにあうかどうかは疑問。
シャツ	入手可能
タオルケット	入手可能なるも種類が少ない、雨季には冷えるので1人当り2枚程度は持参した方が良い。
靴	入手可能。パーティ用のものは1〜2足持参した方が良い。
運動靴	入手可能。但し良質のものは少ないので持参した方が良い。
サンダル	入手可能

② 長袖類はほとんど必要ないが、雨季には涼しい日があり極くたまには必要とすることがある。又バンドン等高原地帯を旅行する際は長袖のシャツ、ブラウス又薄手のセーター等が欲しい。暑い所と思いきなりノースリーブのものばかり持参する人が、極まれにはいるが、必ずしも暑い日ばかりでないで袖のあるものも用意すること。

③ 下着類は品質、サイズとも選択の余地が少なく、その上暑いので1日2度位取替えることもまゝあり、その都度女中がごしごし洗う

ので生地をいためる率は日本に比べはるかに早い。これらの理由を考えると多目に持参した方が良いと思われる。

④ 寝具用タオルケットは各自2枚あてあれば十分である。

(3) クリーニングサービス

一般の洗濯物は自宅で女中にまかせておけば良いが、物によっては女中にこすられては困るもの例えば、背広やドレスなどは、洗濯屋に出した方が良い。クリーニングサービスは一流ホテルならどこでもやっており、泊り客以外にも受付けてくれるところが多い。クリーニング業者もある。価格はホテルに比して業者の方が若干割安である。参考までにブロックエムのクリーニング店のP.T.NAGA PAYUNG (J1, Jen, Gatot Subroto 31) の価格を次に列記する。なお、本店の仕上がりは24時間以内であるが、急ぎは4時間以内でも可能である。

クリーニング代価格表

水 洗		ドライクリーニング		プレス のみの 価格
品 目	価 格	品 目	価 格	
背 広 上 下	Rp 650	背 広 上 下	Rp 1000	Rp 500
背 広	375	背 広	655	375
ズ ボ ン	275	ズ ボ ン	350	175
半 ズ ボ ン	150	半 ズ ボ ン	200	100
Y シ ャ ヅ	200	絹 製 シ ャ ヅ	375	200
長 袖 シ ャ ヅ	250	絹 製 パ ジ ャ マ	500	250
室 内 着 (ガウン)	300	ト ッ プ コ ー ト	1100	500
ス ウ ェ ー タ ー	200	ス ウ ェ ー タ ー	350	175

水 流		ドライクリーニング		プレス のみの 価 格
品 目	価 格	品 目	価 格	Rp
バ ジ ャ マ	Rp 350	ガ ウ ン	Rp 1100	Rp 500
アンダーシャツ	75	絹 ガ ウ ン	600	300
アンダーショーツ	75	ネ ク タ イ	125	75
靴 下	75	婦 人 服(2着)	1000	500
ハ ン カ チ	50	ブ ラ ウ ス	350	175
ブ ラ ウ ス	200	ス カ ー ト	350	175
ス カ ー ト	200	ド レ ス	650	325
ド レ ス	400	婦 人 服(上着)	650	325
婦 人 服	375	ス ラ ッ ク ス	350	175
ロングスカート	375	ロ ン グ ド レ ス	1000	500
ス ラ ッ ク ス	275	ホ ッ ト パ ン ツ (2枚)	650	375
ホ ッ ト パ ン ツ (2枚)	500	着物およびナイトガ ウン	550	275
ナ イ ト ガ ウ ン	400			
ス リ ッ プ	350			
パ ン テ ィ	125			
ス ト ッ キ ン グ	75			

4. 家具什器、雑貨品

(1) 家 具

ジャカルタには家具店は多数あり、かなり上質のものから安価なものまであり、デザインも北欧風のものからインドネシア様のもの、材質もチーク、ロータン(藤)等豊富である。種類は一般日本家庭で使用している程度のもの、即ち机、椅子、ベッド、ダイニングテーブル、応接セ

ット、サイドボード、食器棚、洋服ダンス、本箱はすべて揃っており入手可能である。価格は日本に比較すると割高である。しかし、一般的には家をかりる場合、家具付が大部分であり、2年位の任期であれば、新品家具を購入しても使用出来る期間が短いことにより、専門家自身が家具を購入する必要が生じる機会のはんのわずかであり、あまり心配はない。

表面に彫飾の入ったタンスやテーブル等を土産に持帰ろうとするときはそれぞれ専門店があるので購入可能である。但し注文しても希望どおりの彫刻デザインにならない場合があるので注文の際は十分注意すること。

(2) 電気製品

日本の一般家庭で利用している電気製品は当地ですべて入手出来ると言って差支えないであろう。わが国のメーカーでは松下電気と三洋電気が現地会社との合併で進出しており、シャープは技術協力という形でこれ又各種製品を生産している。他に米国製、オランダ製、西ドイツ製等いろいろ入っている。電気製品を日本から持って来るか、当地で購入するかはどちらも一長一短ある。品数において日本国内ほど豊富ではないので、選択の余地は限定されるが、日本からの輸送費に加え、当地での引取費（例えば冷蔵庫1台で50,000Rp位かかる）、その上引取りに要する時間等を考えると若干品質に疑問があっても、当地産を購入した方が良いのではないと思われる。又万一の故障の際にも当地で購入したものがよりサービスを受けやすい点もある。

但し、電気釜、トースター、アイロン、ラジオ等で現在日本で使用しているものがある場合はその程度は持参することをおすすめする。電圧は一般家庭は110V50cyであるので、日本で使用中のものでも使用に

は支障ない。但し電圧の変動が大きく、低下するばかりでなく上ることもあるので電圧調整器（スライダック）を使用することが故障防止になるようだ。

扇風機	Rp	10,000～50,000	大は300,000Rp以上もある。 ポータブルは70,000前後もある。
クーラー	Rp	150,000～300,000	
冷蔵庫	Rp	150,000～200,000	
洗濯機	Rp	100,000～150,000	
テレビ	Rp	100,000～130,000	
電気釜	Rp	5,000～15,000	
トースター	Rp	4,000～8,000	
アイロン	Rp	4,000～10,000	
ラジオ	Rp	5,000～20,000	
テープレコーダー	Rp		
ジューサー	Rp		

※大部分の日本人専門家は簡単に携帯出来るもの以外は当地で購入している人が多い。別送の場合は引取費および引取日数にかなりの経費と時間を要することを忘れないこと。

(3) 備品・雑貨類

日常生活に必要なものは大部分は当地で入手可能である。茶わん、湯呑、急須、おわんの類および小鉢等の和食器は入手しにくいので日本より持参すること。九谷焼の湯呑セットないし、湯呑、又小鉢の類が最近ほんのわずか出廻りはじめたが、輸入税等により価格は日本に比して2～3倍位である。洋皿、ガラス製品はほとんどすべてである。その他石けん、化粧品、歯ミガキ、タオル、トイレトペーパー、サンダル、ゴム

ソーリおよび包丁等の台所用品ならびにおもちゃ等の日用品はすべて可能。

入手不可能のものは中性洗剤および子供の水遊び用ビニールプール、子供の絵本・雑誌の類位であろうか。この中でも子供用の読物は絵本にしる雑誌、小説類等日本語のものは全く何もないので若干持参することをおすすめする。

日用雑貨品入手の難易

ハミガキ	入手可能	ヘアートニック	入手可能
歯ブラシ	"	ヘアークリーム	"
化粧石けん	"	鍋	"
洗濯石けん	"	やかん	"
洗濯用粉石けん	"	組板	"
中性洗剤	不可能	包丁	"
安全カミソリ	入手可能	ミガキ砂	"
" 替刃	"	ざる	"
トイレットペーパー	"	おぼん	"
ティッシュペーパー	"	魔法びん	"

※現在使用中のものがあれば、1通り持参した方がよい。

おもちゃ、浮袋、トランプ、三輪車、子供用自転車、ミニ自動車（乗用）、ゲーム類はかなり出廻っているが、日本製が多く、割高であるので、おもちゃ類は最少限度は持参した方がよい。

5. 日本からの送付

前述のとおり、ジャカルタには生活必需品は何でも売っていると考えて良く、極端にいえば何も持参しなくても生活を営むことは出来る。しかし

ながら赴任当初は、一般的にいつて、何処にどんなものが売っているかわからず、自動車もないので、買物にしても不自由であるので、ある程度は持参した方が良いと思われる。特に家族同伴で赴任する方はかなり荷物も持てるので、携行出来る範囲で、衣料、雑貨類又は若干の食料品も用意することをおすすめする。

但し、別送にするには送料、引取料等かなりかかる上に引取に時間がかかるので、その分を考え合わせると現地で購入した方が良いと思う。

なお、インドネシアは、専門家の免税輸入特権は任期中いつでも、何日でも有効であるので、赴任後、定期、不定期に日本から送ることも可能である。免税手続は、JICA事務所が代行出来る。

第3章 保 健 衛 生

1. 環 境

ジャカルタは年間平均気温26℃、湿度平均70%と高温多湿の上に太陽光線に恵まれ、動植物の繁殖、成育には極めて適しているといえよう。このことは逆に各種病原菌や細菌の繁殖にも絶好の条件にあるわけである。

一方、市内の至るところに小さな川があり、下層一般のインドネシア人の水浴、洗濯に利用されるばかりでなく、下水道となっている。このため蚊、ハエ、ゴキブリ等は1年中絶え間なくおり衛生状態は極めて悪い。下水道施設はジャカルタ市内といえど皆無に近く汚物は海に流れ込むか、自然浄化に待つ他ないのが現状である。

上水道はフランス製設備をもつ浄水場があり、わが国同様塩素殺菌によって、ほぼ完全に近い状態に浄化している。しかしながら供給量ならびに配水管施設の普及は市内の約45%であり、水道の恩恵に浴する人は限ら

れているばかりでなく、その配水管はオランダ統治時代のものであるため既に老朽化し、各所にき裂を生じているとのことである。このことは水のロスが大きいばかりでなく、少しでも水圧が下ると管外の汚物が管内に流入するおそれがあり、このため水道の水といえども生水のまま飲むことは絶体に避けるべきである。

他方、インドネシアの1人当りの国民所得は約80米ドルと非常に低く、月になおすと3000ルピア(約2,000円)である。このため大部分の人は日常、保健衛生にまわす経済的余裕がなく、健康診断もしないため、表面的には健康状態が握めないが潜在している患者がかなりいると見なければならぬ。中でも一番多く、最も恐ろしいのは結核であろう。ある専門家グループが女中10数名について胸部X線撮影を実施したところ、実に7割強が肺結核であったという。次いで多いと思われるものにマラリアがある。ジャワ島およびバリ島は比較的よくコントロールされているが、他の地方ではまだまだ猛威を振るっており、これら外領とジャワ島との往来が煩繁である以上、ジャワ島のマラリアを完全に駆逐したとって良いかどうか若干疑問がある。しかし、ジャワで感染したという話は最近全くきかない。コレラについては時々新聞で発生したとの報道がある。ごく最近(74年5月)もバンドンで発生し、死者が出たといわれたが、バンドン市の保健研究所長はコレラでなく単なる下痢と吐き気であると否定しているが真偽のほどは不明である。その他天然痘、チフス、赤痢等注意を要する疾病はかなり多く、直接、間接、これらの病気に感染、発病する条件は極めて高いといえよう。

なお、これら本当の病気とは別に異国病というものがあるそうである。これについては日本電々公社の「海外生活の手引」(技術協力専門家のために)に詳細記載されているので少し長くなるが参考までに以下1部抜萃

させていたとく。

「この耳なれない病気は、われわれが日本で生活している限り無縁の病気であるが、一度海外で生活するとなると、たいていの人々が病状の重い軽いはあるにしても一度はかかる病気である。これは海外で生活する人の職業病であるといえる。

たいていの病気がそうであるように、この病気にもそれ独自の原因、徴候、経過、治療法、予防法がある。そこで、これから海外で生活される人々のために、異国病について説明しておく。

まず原因であるが、これはわれわれが生れてからこれまでの間慣れ親んできた生活、習慣、仕事、交際の方法等が通用しなくなることから惹起される不安、気がかり等から引き起される。

次に徴候、経過であるが、これは各人によって非常に異なる。内面はともかく外面的にはなんの徴候も現われない人もあるし、まれにはあるが海外生活に耐えきれず自分の国へ逃げ帰る人もある。がともかく、この病気の罹病から全快まで4段階に分けることができる。

第1は最初の数日から数週間の間である。この間は新しいものに驚嘆し眩惑される。普通この時期はホテルに住み、任国の人々と協調すべく努力し、また、任国の人々も礼儀正しく感謝の念をもって心から優遇してくれる。それゆえ旅行者とか視察者だとかは、このハネムーン期間中の好印象を持って帰国し、滞在中の経験を発表する。しかし、その国に滞在し現実の生活に直面した場合には、このような好印象は長くは続かない。アバタもえくぼの時期から、アバタはアバタの時期へと移って行く。

第2の段階は任国に対して敵意をもち攻撃的になるという特徴を持っている。海外で生活するとなるといろいろと困難がある。仕事の問題はもとより、女中のこと、学校のこと、食事のこと等々枚挙にいとまがない。そ

れらを通しての不平不満がこうじて、その国のやり方、その国の人々に対して批判をするようになる。しかし、この批判は客観的な根拠のある評価ではなく、単に相手を傷つけるものである。やがてこの批判は次第に固定した観念となってその外国人の心に定着してしまう。この段階になれば最も危険な状態で、うまく抜け出せばよいが、どうしても不可能ならば自分の国へ帰るよりしかたがない。

第3の時期は当該国の歴史的背景に基づく社会状況を、客観的に分析する余裕が生ずるときである。その国の仕事のやり方が遅いのも、女中の手癖が多少悪いのも、自国の判断基準で判定せず理解を示せるようになってくる。

第4の段階は仕上げの状態である。あなたは当該国の風俗習慣に、あなた自身の生活様式を順応させるようになってくる。あなたは時に努力を要する場合もあるが、普通何の心配不安等の感情を持つことなく、新しい環境で生活行動できるようになる。

次に治療法であるが、上記の四つの区分からも明らかなように特効薬は無いと思わねばならない。もっぱら各人の持っている自然治癒力を期待するほかない。しかし、このような異国病があること、上記のような経過をとること、普通の人なら多少の努力で快方に向うことを知っているだけでも闘病期間中の強力な支えとなることと思う。

最後に、ではこの病気にならないような予防方法はないか考えてみよう。コレラや天然痘のような予防接種があつて、海外渡航前に簡単にできればよいがそうはゆかない。しかし、予防に役立つものが皆無ではない。一番たいせつな点は柔軟な考え方であり、異質の物を取り入れて拒絶反応を起さないことである。」

2. 医療施設

(1) 総合病院

ジャカルタ市内に病院と名のつくものは大小合わせて20以上あるが、その中で、日本人が安心してまかせられるところは非常に少なく、それすらも施設、設備および医者、検査技師の技術、両面から見た場合完全といえるかどうか疑問である。

日本人が多く利用している総合病院の主なものは次のとおり。

病 院 名	住 所	電 話	備 考
R. S. Pertamina	Jl. Kiyai Maja		プルタミナ石油 公社の附属病院。 建物、設備は抜 群である。
R. S. St. Carolus	Jl. Salamba Raya 41	82981-3	ミッション系
R. S. Dr. Cipto Mangukusumo	Jl. Diponegoro 71	44002-4	インドネシア大 学附属病院
R. S. Fatmawati	Jl. Cilandak	71235	国立病院

※ R. S. は Rumat Sakit の略で病院という意味のインドネシア語である。

病院の診療時間は午時7時ないし8時から11時ないし2時までと病院により異なる。病院によっては夕方にも診療するところもある。

総合病院の中で最も設備、施設が整っているのはプルタミナ中央病院であろう。この病院は病室も清潔であり、見た感じでは最も日本人向きである。なお、この病院には日本で14年間勉強、診療にたずさわっていた Dr. Satyanegara が脳外科医として勤務しているので外科関係は勿論、その他の病気でも適宜医師を紹介してくれるので、必要がある方は当事務所で紹介する。

(2) 個人開業医

個人開業医はかなりいるが大部分は昼間は病院勤務をしている人が一般である。このため自宅での開業は午後4時ないし5時以降である。緊急の場合は朝7時位までなら診療が受けられる。

個人開業医で比較的安心してかゝれると思われる医師を大使館医務官の協力を得て選定したものが次のリストである。

○内科	
Dr. G. Hartono	Jl. Hang Jebat II-9 K. B. 73030 月～金 午後5時～7時 日本語可
Dr. Utoyo Sukaton	Jl. Jatipatanbulan II-6-98 52615 火・金 午後5時～7時 日本語可
Dr. Moh Imran	Jl. W. Monginsidi IV-106 月～金 午後5時～7時 日本語可
○小児科	
Dr. Suhasim	Jl. Panglima Polim V-42 K. B 70164 月～土 午後4時～6時 日本語可
○耳鼻科	
Dr. Wannee	Jl. Krinci II-2 71353 月～金(土曜は電話で了解を得ること) 午後5時～7時 元日本人
○眼科	
Dr. Djoko Sarwono	Jl. Jamba 3 42226 予約制 月水金 午後4時～
○皮膚科	
Dr. Nata Fusada	Jl. Sungai Sambas 月水金 午後4時より
○X線科	
Dr. Kasuma Tanpati	Jl. Sriwijaya I/1 B 71507 月～金 午後4時～6時

○産婦人科	
Dr. Samil	Jl. Prof. Moh Yamin 35 44366 月～金 午後4時～6時
○歯科	
Dr. S. Gondohu Sobo	Jl. Surang 12, Menteng 51582 予約制 月曜日休診 午後2時～8時

(3) 保健所 DKK

Jl. Panglima Polim 1-1 K.B.

Jl. Kiyai Caringin 7 Menteng

(4) 救急連絡

救急車の連絡は118番に電話をすると来てくれる。

(5) 日本人の医師

一般開業医は全くいない。日本大使館に医務官が1人配属されている。この医務官は大使館員およびその家族の健康管理のためにおかれているもので、正式には医療行為は認められていない。しかし、専門家および家族の健康相談にはのっていただけるので、健康を害した場合など申出ていただければ、ご紹介する。

3. 医薬品

ジャカルタには薬局は非常に沢山ある。街を歩いていると“Apotik”という看板がよく目につく。これが薬局である。薬はアメリカ、西ドイツ、イギリス又一部日本製も入っており、豊富であるが、医薬分業制が確立しているため、一部の薬を除いては医師の処方箋がないと購入出来ない。このような医療制度のちがいの他に言葉の問題もあり、軽症の病気は手持ちの薬で間に合わせる事が多いので、家庭常備薬は一通り用意した方が良い。

最低限度必要な常備薬

風邪薬 子供用の常備薬も忘れないこと。

下熱剤

胃腸薬

外傷剤

眼薬

クロマイ

かゆみ止め

蚊取線香

氷枕

体温計

なお暑いところではあるが、1日の気温較差が大きく、風邪を引きやすいし、又下痢もおこしやすいのでこの2つの常備薬は是非用意することをおすすめする。

又、蚊が多いので、虫さされ、かゆみ止め等は、特に乳幼児のお子さんがいる方は多目に持参することをおすすめする。蚊取線香は輸入禁止品目であるので沢山持込むと没収されかねないので、持参の際はカバンに分散するなど工夫を要する。いわゆる電気蚊取りがよいという話もある。

4. 健康管理

新規赴任した場合は気候、食物、生活環境等一般が急激に異なるので慣れるまでは体調を崩しやすいので注意すること。健康管理は一般的には暴飲暴食を慎み、適度の運動を行ない、睡眠を十分とること。早寝早起きの励行など、極く常識的なことを守ることが一番大切である。その他健康管理上注意することは次のとおり。

- ① 水は、井戸、水道を問わず必ず一度沸湯させてから利用すること。

- ② 大量の発汗により塩分が失われ、食欲低下を来たすので、塩分の補填を考慮した食事を考えること。
- ③ 食欲の不振の際は、各種のレストランがあるので目先を変えることも一つの方法であろう。
- ④ 疲れた時はひる寝も又、疲労回復に有効である。
- ⑤ 11月ないし3月の前後は気候の変わり目であり体調を崩しやすいので注意を要する。
- ⑥ 適当にスポーツを楽しむこと。ゴルフ、テニス、ボーリング等が出来、ストレス解消にもなる。
- ⑦ 予防注射は天然痘、コレラは日本でして来ているが、コレラの有効期間は6カ月であるので切れる直前に実施すること。(市の保健所および空港内でやってくれる。)
- ⑧ 外領へ赴くときはマラリア予防薬の服用を忘れないこと。
- ⑨ 年に1回位は寄生虫(回虫、十二指腸虫等)の虫下しを飲んだ方が良い。
- ⑩ 結核が多いので、乳幼児で陰性の者はBCGを必ず接種すること。
(日本で出発前に実施してくることが望しい)陰性であれば、先ず感染するとみて間違いない。
- ⑪ 1日の気温較差が大きく、朝方はかなり冷え込むので、寝冷えをしないよう留意すること。

しかしながらいくら注意しても発病することもあるので平素より、病氣の際はどこの医者へ行くかを考えておき、いざという時、あわてないように心掛けておくと良い。病状によっては、特に手術を必要とする際は日本へ帰国して診察を受けた方が良いであろう。

5. 理容、美容院

(1) 理容院

一流ホテル例えば、ホテルインドネシア、プレジデント、カルチカブラザ等はすべて理容院がある。又サリナデパートの一階にもある。

パッサールブロックエム周辺にある理容院は次のとおり

- International Jl.Melawai 9-44
- Pax Jl.Melawai 9-38

料金は次のとおり

	プレジデントホテル	ブロックエム周辺
散 髪	500 Rp	400 Rp
洗髪・調髪	400	300
ひげそり	500	400

その他、マッサージ、爪みがき、染髪等のサービスがあり、それぞれ料金をとられる。

(2) 美容院

理容院同様一流ホテル、即ち、インドネシア、プレジデント、カルチカブラザ等にあり、サリナデパートにもある。

クバヨランバルー地区のものを列記すると次のとおり。

- Helens Hair Beauty Salon Jl.Pakubuwono 6-33
- La Rose Beauty Corner Jl.Melawai Raya 84-85
- Remaja Jl.Melawai 6-25
- Sarawati Jl.Melawai 9-7
- Sunny Beauty Salon Jl.Raya Panglima Polim 11

料金は髪の長短にもより一定でないので、美容院で各自問合せる以外

ないが一般的にいつて、日本と比べて割高のようである。一応の目安は次のとおり。

パーマネントウェーブ	5,000~7,000Rp
セット	4,000~5,000

第4章 子弟の教育機関

海外勤務する上で、大きな問題の一つに子供の教育の問題がある。特に開発途上国はどこでも適切な教育施設は極めて少ないといわざるを得ない。このため、教育適令期の子供をもつ者は折角専門家として海外に赴任するのに、教育上の問題から妻子又は子弟を本部に残さざるを得ず、家族がバラバラの生活を余儀なくされているのが現状である。

これらの問題を解決するため、JICAとしても「子女一時呼寄せ制度」等改善策を講じているが、今後とも更に前進した改善策が必要である。

ジャカルタにおいては、昭和44年より日本人学校が創立されているので、低学令の子弟の教育は比較的恵まれているといえよう。

(1) 日本人学校の概要

名 称	日本国大使館付属ジャカルタ日本人学校
所 在 地	Jl. Pasar Minggu tel 75386
教 員 数	日本人11名 現地採用6名 計17名
生 徒 数	中学生 26名 小学生 235名
月 謝	30米ドル
学 校 債	1家族につき400米ドルの学校債を買わされる。これは退学時に返環される。

通学方法	特別な場合を除いてスクールバスによる、父兄が交替で付添いの必要あり。 スクールバス代は8000～9000 Rp /月1人である。
------	---

なお、日本人学校と同様に大使館付属の幼稚園がある。

所在地	Jl. Tebet
園児数	150名程度
教員数	5名
月謝	45 \$
入学金	
通学方法	各自の責任において送迎する要あり。

(2) ジョイント・エンバシ・スクール (Joint Embassy School)

の概要

Joint Embassy School はアメリカ、イギリス、オーストラリアおよびユーゴスラビアの各大使館の協力のもとに設立されたもので幼稚園から高校(幼稚園およびGrade I から XII)まであり、アメリカで使用されているカリキュラムとテキストをもとに英語で教育している。本校を卒業した場合は大学入試の資格(日本の大学は不可)が得られるよう配慮しているとのことである。入学資格は特になし。日本人でも子弟をこの学校に通学させている者もある。

申込方法 アメリカ大使館の J. E. S. 係か直接学校に申込む

所在地 幼稚園および Grade I - III

Jl. Patimura, Kebayoran Baru,

Grade IV から XII

Jl. Teragong, Cilandak

授業時間	幼稚部	7:30~11:00
	Grade I-III	7:30~12:30
	Grade IV-XII	8:00~14:00
授業料/年	幼稚部	1,024米ドル(1975年9月)
	Grade I-III	1,484 "
	Grade IV-XII	1,684 "
入学金	学校建設、維持費として1人3,000米ドル	
	但し、この入学金は1年毎に125米ドル減額されるが、退学時に返還される。	

(3) インドネシアの学校

インドネシアの学校制度は日本と同様6, 3, 3制であり、日本人の子弟についても入学許可を取れば可能である。特に私立は校長の許可だけで良い。

月謝は父親の収入によって異なるので、滞在費の $\frac{1}{4}$ 位として申請すると、私立小学校で入学金6~7万Rp、月謝4~7千Rp位であろう。小学校、中学校はジャカルタは勿論、それ以外でもどこにもある。

第5章 交通・通信

1 交通

(1) 交通機関

ジャカルタでの生活上、自動車は、日本では考えられないほどの必要度があり、不可欠といえる。即ち毎日の通勤、買物、友人・知人とのつきあい、娯楽・スポーツを楽しむ際等いずれも自動車がなければ、どれも思うにまかせない。日本と違い大衆交通機関の発達が遅れているインドネシアでは、生活を維持エンジョイする上では車はぜいたく品ではなく、日常必需品として重要な役割を果たしている。

一般公共交通機関は次のとおりである。

○ タクシー

許可をとったタクシー会社のものは、最近ほとんどメーター制を採用している。料金は大型と中型により異なり、時間制によるものとハイヤー制のものがある。又白タクもかなり横行している。

タクシー料金は中型のもので、メーターによると最初の1kmが200Rp以降200m毎に175Rp、待ち時間は50秒毎に175Rpである。時間制のハイヤーは1時間800Rpから1,000Rpで最低2時間制であり、以降1時間毎に800~1,000Rp追加となる。市外へ出ると割増料金を請求される。例えば

ジャカルタ・ボゴール往復	6時間利用	10,000Rp
ジャカルタ・バンドン片道	4時間利用	15,000Rp
” 往復	10時間利用	25,000Rp

タクシーを利用するには、タクシー会社に電話するか、又パッサール・ホテルの前に駐車している所まで出掛けねばならない。流しは一般的でないので仲々利用しにくい。

比較的信頼のおけるタクシー会社は次のとおり、

Blue Bird Taxi	Jl Garuda 88-90	tel 44937 40787	色は淡 いブルー
Morante Taxi	Jl Alaydruo 15	41219 41379	色は白
" (クバララン地区)	Jl	74996	"
Ratax(Radio Taxi)	Jl Kramat Raya 21	40814 45670	色は茶
President Taxi	Jl Gajah mada 9A	52634	色は黄

○ バ ス

市内には50ルート以上運航しており、回数も多くジャカルタ市民の足として最も利用されているものの一つである。料金はルート内であれば、何処まで行っても25Rpである。行先表示はあるが、小さくて読みにくいので地理を覚え、インドネシア語をある程度理解出来ないと利用しにくい。従来は車掌が2人おり、行先を叫んで呼込んでいたが、最近は前から乗車し、後方口からおりることとするなど整理した。

一般のバスに対する評価は、運転が乱暴、満員、不潔、スリが多いなど非常に悪いので、専門家の方は利用するにしてもかなり慣れてから利用することをおすすめする。

○ ベチャ(メカ三輪自転車)

インドネシア中どこでも見られる最も手軽な交通機関で、インドネシア庶民の足として活躍している。一応2人乗りであるが、インドネシア人は3人位乗っており、人間以外の物、例えば家具その他の荷物も運んでくれる。短きより用で、最低料金は25Rpであるが日本人とみると高くふっかけて来るので、事前に料金を交渉し、決めてから乗ること。料金交渉をせず乗った場合、料金は相手のいゝなりに払わねばならず、2倍以上、5倍も請求されることもある。時間と料金を決

めて、時間確保することも出来る。

○ ヘリチャ（自動三輪車）

メンテン地区に多く見られる2人乗り自動三輪車で、タクシーの代用である。料金は距離により異なるが短距離で100~200Rp、時間で400~500Rp程度である。これも事前に目的地を告げて料金を決定してから乗ること。

○ ベモおよびオベレット

ともに小型乗合自動車、即ちミニバスである。ベモは希望のところへ運んでくれるが、オベレットはルートがきまっている。日本人はほとんど利用しない。

なお、ベチャ、ヘリチャ、ベモいずれも悪質な運転手がいるので、夜間の利用は十分注意する必要がある。

(2) 道路事情

主要幹線道路およびジャカルタの市内主要道路は舗装されており、比較的良い。道路は国道と州道にわかれており、国道約10,000km、州道約25,000kmであるが、このうち約半分は舗装済である。しかしながら、道路の占める比率が低いいためジャカルタ市内の道路混雑は東京都心並みである。

(3) 特に注意すべき交通法規

左側通行であり、日本の法規を知っていれば、大体問題ない。一方通行が多いこと、信号によらずロータリーで右折すること。モーターバイクが道路中央を縫って走ること等が注意を要する点である。又少しでも店のあるところに止めると駐車係がいて50Rpを請求される。もっともこれは駐車代というより、自動車のジャガー（見張り番）と理解すれば良いかも知れない。

(4) 交通事故の取扱い

自動車保険制度が整っているので、必ず加入すること。

人身事故を起した場合は、たゞちに最寄りの警察に逃げ込んだ方がよい。直ぐ群衆が集まって来て、場合によってはリンチに合うこともある。リンチは特に地方、いわゆる田舎に多く、事故でひき殺してしまった運転手を村人がリンチで報復殺人してしまったという話をよく聞くので、注意すること。いずれにしても飲酒運転は絶対に避けるべきである。故障などのことを考えると運転手を備う方がよいと思う。

(5) 自動車の購入

1974年1月22日以降、インドネシアは、セダンおよびステーションワゴンの完成車の輸入を全面的に禁止した。(但し外交旅券所持者は例外扱いである。)

このため専門家が車を入手する方法としては現地で租立てたものを購入するか、先任者等が使用している免税車を譲り受ける以外にない。

現地租立車については、1974年10月に法改正を行ない、専門家に対する措置として、①免税購入の権利を与える。②納期については特別優先権を与える。というものである。

免税という意味は、イ、商業省、工業者が、各メーカーからの資料をもとに検討し、関税等を差引いた価格をバベナスが最終的に決定し、発表するものである。たゞし、この価格は3カ月毎に改訂されるのとことであり、1975年7月に改訂価格が発表されたもので主な車種ならびに価格は別表のとおりである。

前記の価格でわかるとおり、トヨタ車が圧倒的に安く、74年暮れより専門家が購入した租立車は100%トヨタ車である。

ジープについては、輸入禁止より除外されているが、事前にイ商業省の許可をとる必要があり、現実的には個人使用車については許可はかなり難しいとのことである。

購入手続については

- ① 専門家が着任すると事前申請をイ技術協力調整委員会に行ない許可を取る。
- ② 許可をもとにメーカーにオーダーする。
- ③ メーカーは生産し、エンジンナンバー、シャシーナンバーを決定する。
- ④ この車種をもとにイ技術協力調整委員会に本申請し許可を取得する。
- ⑤ 許可をもとにメーカーより車を手入する。

支払は現金 (Rp) とし、納期は、全手続を含めて1～2カ月である。前任者から免税車を引継ぐことは可能であるが、現在のところ、中古車の市場価格は非常に高く、特別な事情がない限り、すいせんいたしかねる。

どちらにも購入権利は3カ月以上の任期があれば発生するが現実的には1年以上の任期がないと使用する意味が小さい。

(6) 自動車の売却

免税で持込んだ車（輸入禁止以前）および購入車いずれもイ国内で売却する際は、関税相等分を支払う必要がある。税金は従来、購入者が支払っており、この分だけ専門家は安く売っているのが実情である。

売却先はインドネシア政府により業者が指定されており、この業者に売らざるを得ない。指定業者リストは事業団ジャカルタ事務所問合せれば教えてくれる。一応教社指定となっているが、現実には有名無害の

会社が多くハラバンないし、ダレックラヤの2社以外は資金力がないので売却の際注意する必要がある。

メーカーと売却契約したならば必ず、契約書の写ないし売却証明書を取りつけること。事務所はこれをもとに専門家の出国許可を取得するので、指定業者以外に売却すると出国許可が得られないので厳重に注意すること。

任期中に新車と更新を希望する場合、3年を経過すれば権利が発生する。

なお、交通事故等により使用に耐えない場合は3年以内であっても、警察の事故証明書および保険会社の金損査定書があれば、購入することが出来る。

(7) 自動車運転免許

ジャカルタにおいても試験を受ければ、運転免許証を発行してもらえる。又自動車教習所もある。教習所の自動車はかなりボンコツである。

国際免許証について、ジャカルタ交通警察の話では、1年間はそのまま有効とのことである。従って、1年以内にインドネシアの免許証に書替えれば良い。しかしながら、当地の警察官のレベルを考えると、国際免許証について、どこまで理解しているか疑わしく、トラブルに際しては、余計に煩雑な事態を招く恐れがあるので、出来るだけ速やかにインドネシアの免許証に切换えることをおすすめする。手続は次のところでやってくれる。

Polisi Lalu Lintas (交通警察)

Jl. Raya Jenderal Sudirman

窓口は Loket Rebewes

申請書用紙代 300Rp

(8) ガソリン

ガソリンはガソリンスタンドが市内の要所には必ずあり、だいたい何時でも購入出来る。料金は、スーパーはRp67/ℓ、レギュラーはRp57/ℓである。

2. 通 信

(1) 郵便物

日本から送られてくる手紙、ハガキ、小包等は、最近ではほぼ間違いなくついているようである。Menteng およびKebayoranの住宅地区は戸口配達もしてくれる。

JICA事務所を気付として手紙を送る場合は次のように書くこと。

例、Mr. A

JICA

c/o Embassy of Japan

Jl. Thamrin 24, Gakarta

Indonesia

JICAを必ず入れること。大使館に配達された郵便物は、インドネシア人が分類するため、新しく来た専門家の名前を覚えておらず、場合によってはあて先不明として処理されることがある。

なお、小包は時々中味の一部分が抜き取られることがある。

インドネシアから日本向けの郵便物は以前は良く行方不明になったが、最近では、あまりそういうこともなくなった。しかし完全とはいえないので、手紙発信の際は、郵便局で消印を押してもらいと間違いない。ホテルインドネシアのmail serviceでも消印してくれる。ホテルプレジデントにもmail serviceがある。

インドネシア国内の場合はKILAT(速達)ないしKILAT KHUSUS

(特別速達)とするとだいたい1日ないし遅くとも2日位で着いている
ようだ。

KILAT および KILAT KHUSUS は又サンタラビル12階の
郵便局で扱ってくれる。

書留にすると1週間以上かかるので急ぐ時は注意を要する。

中央郵便局 Jl. Pos 2, Pasar Baru tel 48083

(2) 電 報

電報は国内、海外とも可能であり、かつ正確に発着信している。

日本へ発信する場合の料金は1語169Rp、最低7語である。電報局
は24時間サービスを行なっている。外額はかなり遅れることがある。

電報局 (Telekomunikasi) Jl. Merdeka Sulatan 12,
tel 49357

クバヨラン地区は

電報電話局 Jl. Raden Patah 11-4 tel 71105

(3) 電 話

インドネシアの電話整備の遅れは、この国の経済発展にとって、多大
な阻害要因となっているのではないかと思われる。人口千人当りの回線
数は日本の251に対し、インドネシアはわずかに1.7、比較的回線数の
多いジャカルタですら7である。(シンガポール平均60、マレーシア
15、フィリピン7、タイ3.5でタイに比べても半分以下である。)こ
のためジャカルタ市内でさえ、最初の数字を廻しただけで、いわゆる話
し中の状態となり、相手を呼び出すまでにはかなり根気がいる仕事であ
る。しかし市内は通じればまずまず聞取れる。

市外はジャカルタ、バンドン間および、ジャカルタ、スラバヤ、ジョ
クジャカルタ、テルボン、スマランおよびデンパサール間のみがダイヤ

ル直通であとは申込制である。申込後2～3時間待たされることはざらであり、ひどい時には4時間以上待つこともある。その上折角通じても半分位聞き取れないなど、通話状態は全く悪いといえよう。むしろ国際電話例えば東京を呼び出す場合であれば、非常に早くだいたい20分から60分で通じ、かつ非常に通話状態は良好である。

なお公衆電話は、一般的にはないが、大きなホテルや空港にはあるし、又パッサールブロックエムにもある。料金は1通話25Rpである。

国際電話の申込	101番
国内長距離電話の申込(ジャワ島内)	100番
” (その他地域)	104番

なお電話料金は毎月20日までに所轄の電話局へ支払いに行かねばならない。遅れると延滞料をとられるだけでなく、電話を止められることがあるので留意すること。

(4) 日・イ間の通信所要時間(ジャカルタ、東京間)

手紙(Air Mail)	4日～7日
電報	1日
電話(申込後)	20分～60分

3. 運 送

陸送、海送、空送とも、多数の業者があり、すべて代行してくれる。

日本から送付した荷物は、海送であれ、陸送であれ、代理店が引取、通関、自宅までの転送はやってくれる。

いずれにしても荷物がある場合は、早めに事務所に相談することが望ましい。

(1) インドネシア国内の送付

国内の陸送、空送は比較的問題がなく、インドネシア中にネットワー

クをもっているエルテハという業者に代行させれば、かなり早くかつ安全に着く。料金は仕向地、重量、サイズ等により異なるが、10キロ前後のものをジャカルタからスラバヤまで送付して5,000ルピア程度である。

(2) 日本より海送荷物の引取り

ジャカルタであれば、タンジュンプリオク港に着いた荷物を免税手続の上、業者(カスタムブローカー)に渡し、引取りを依頼するわけであるが、この業者は最近25業者にしぼったとかで、その中の業者についてイ技術協力調整委員会よりジャカルタ事務所あて、すいせんして来ているので、当面そこの業者を利用していくこととしている。

料金は一応の目安として、1キュービックメートルのもの1ケースでジャカルタ市内までの転送を含めて約70,000ルピアである。時々中味の一部が紛失するという事故がある。

(3) 日本よりの空送荷物の引取り

航空荷物については、最大の問題はエアウェイビルを入手することである。第9章のアナカン引取の項に記したようにP. T. カルディックという会社は意識的にエアウェイビルの管理を悪くして、倉庫料を稼いでいる節があり入手にかなり時間がかかる。現在、ジャカルタ事務所はカルディックの指定業者(カスタムブローカー)の一つであるP. T. アシアテンガラという会社を主として利用している。

この会社は必ずしも手数料は安くはないが、エアウェイビルの入手が比較的早いため、倉庫料との見合いを考えると必ずしも高いとはいえないので、利用している次第である。

料金はジャカルタ市内への転送を含めて、1キロ当り500ルピアとし、ミニマム10,000ルピアである。従って小さいものであれば航空郵便小包とした方がはるかに割安である。

(4) インドネシアより日本への海送荷物

帰国時に引越荷物がある場合は、業者に、まかせる以外ない。業者は着任時の引取と同様、イ技術協力調整委員会すいせんの業者を主として利用する方針である。すいせんしていることと責任を持つことは別であり、全くトラブルがないとはいえない。

その他梱包から日本での開梱までいわゆるドアツードアで扱う業者もあり、荷の内容により各自が判断して決定する以外ない。

なお従来専門家が利用していた業者の主なものは次のとおり

P. T. International Movers & Storage (非常に高いが正確)

P. T. Vaya Murni (比較的安い、紛失等トラブルが時々あるので注意を要する)

電話一本で梱包から日本での開梱まで一切をやってくれる。

(5) インドネシアから日本へのアナカン

アナカンについては、各専門家とも、自分で扱っている。勿論業者に代行させることも出来るが、手続的には簡単であるため、各自で行なっている。だいたいの所要経費はサイズ箇数によるが10,000ルピア以内で済んでいる。

第 6 章 使 用 人

1. 家事使用人

(1) 採用方法

家事使用人としては、料理女中、洗濯女中各々1名というのが一般的であるが、ハウスポーイを雇っている人もかなりいる。又家族構成によっては子守をやっている人もある。料理女中といったところで特別に料理を習っているわけではなく、前に働いていた家で覚えた程度であり、

洗濯を兼務させることも出来るし、又子守と庭掃除あるいは室掃除とそれぞれ兼務させることも出来る。要するに家庭のことを2名ないし、3名で分担してやらせるわけである。

採用するに当っては、職業紹介所を利用することも出来るが、友人、知人の女中から紹介してもらうのが一般的である。割合に簡単に探してくるが、能力、信用(真面目さ)健康、清潔の4項目を日本人的感觉で採点した場合、合格するのは10人に1人もいないので、ある程度で妥協して使用する以外ない。家事使用人は住込みが一般的である。

(2) 採用上の注意

- ① 必ず面接し、いろいろ話合うわけであるが、最初は言葉の問題もあるので、先任者等の言葉の出来る者を介して、こちらの条件をはっきり伝え、かつ、相手の条件についても、イエスノーを明確にしておくこと。
- ② 最初の3カ月は試用期間である旨、申し渡し、よく働かない場合は解雇することを明確に伝えておくこと。
- ③ 待遇については特に説明を十分すること。
- ④ 前歴をよく確認し、止めた理由によっては採用を中止すること。
又近所で働いている者や、日本人のところで働いている者を引き抜くことは道義的に好しくないので絶対に避けること。
- ⑤ 禁止事項、例えば、外泊をしてはいけない。友人等を無断で門の中へ入れない。知らない人が来た場合まず名前と用件をきいてから門の中へ入れる等のことを初めによく注意しておくこと。
- ⑥ 料理が出来るといっても大したことは出来ない場合が多いのでよく聞いてから決定すること。
- ⑦ 結核等疾病者が多いので、疑しい場合は医者に診せてから決定す

ること。

- ⑧ ボーイは良く働く場合が多い反面、男だけに悪いことをする場合も度胸が良くかつ、女中と恋愛問題を起すこともままあり、解雇することも女中ほど単純ではないので、十分留意のうえ決定すること。
- ⑨ 仕事の分担は、はっきりさせること。いつけたこと以外はまずやらないと考えてよい。従って料理係、洗濯係、室掃除係又は兼務等ははっきり申渡しておくこと。
- ⑩ 優しくしてやることによって、喜ぶ反面、つけ上るおそれがある。インドネシアの婦人に聞くと恐い程きびしく扱っている。要するに人間として信用していないのである。

日本人はこの点、甘やかしすぎるといわれておりながら、良くことをいっており、使用人を使い苦勞を味わっているのが実情である。

(3) 待 遇

- ① インドネシアの習慣として給料は、基本給に食費および副食費（主として野菜代）又通いの場合は交通費の各費目により分けて積算するのが一般的であるので、留意すること。
- ② 待遇の決定に当っては、先任者や近所の人の意見をきいて決定すること。
- ③ 食費は金で払う人、品物を買って与える人、又支払いを月ぎめにする人、週払いにする人、毎日払う人等いろいろであるが、金で渡すと食費に使わず、他のことに使ってしまう場合が多いので注意すること。
- ④ 休暇は試用期間中はどちらでもよいが、試用期間が過ぎたら、月に2回程度は有給休暇を与える必要があろう。

- ⑤ 医療費は特に事前に決める必要はないが、怪我や病気で医者にかかった場合、医療費と月給の額を考えると使用者が負担せざるを得ないであろう。
- ⑥ 試用期間中は 1,000 Rp 程度低くしておいて、試用期間あけに上げてやることが多い。
- ⑦ 最低でも年 1 回は昇給してやること。物価上昇がはげしいので近所の様子によっては適宜昇給してやる必要がある。
- ⑧ ジャカルタでの在住許可証である KARTU TANDA PENDUDUK を確認し、ナンバーや本籍地を控えておくこと。
- ⑨ 給与月額(住込食費込)

料理係女中	8,000～10,000Rp
その他の女中	7,000～ 9,000Rp
ハウスボーイ	9,000～12,000Rp

(4) 解雇の際の注意

悪いことをした時や、いふつけを守らない時は厳重に注意し、それでも駄目な時はお引取りいただく以外ない。当初の 3 カ月の試用期間中であつても働いた日数分の月給の他に若干の車馬賃を与えて、個人的反感や、感情的しこりを残さないようにすること。試用期間後に解雇する際は、悪い点を指摘し、納得させてから解雇すること。この場合余程悪辣な者でない限り、働いた期間にもよるが給料の 1 カ月分前後の退職金は支払ってやるべきであろう。又使用者の責任ないし、都合で解雇する際は給料の 2～3 カ月分を請求される。

なお、良くないからという理由で、女中を取換えてみても、この次に前より、良い女中が来るという保障はどこにもない。むしろ、また 1 から 10 までわが家の流儀を教え込まねばならないことを考えると、解雇

することは考えものであり、それ以上に品物のように簡単に次から次へと取換えることは出来るだけ慎むことがのぞましい。

(5) その他の注意事項

- ① 家事使用人はいかなる国においても又、どんな人にとっても神経を使う問題であり、多かれ少なかれ、ジャカルタにいるすべての日本人はこの問題に頭を悩ましているといっても過言ではない。インドネシア人でも難しい問題だといっている。ましてや日本人とは民族、言語、宗教、風俗、生活慣習の異なるところの生活は苦勞が多いが、これらの違いを理解し、尊重することも又大切である。
- ② 悪い時は叱る必要がある。叱らないと良いものだと思って、再度同じことをする。しかし、感情的になって、大声をあげたり、ましてや手をあげるようなことは絶対に慎むこと。インドネシア人は人前で叱られることを大変恥しがるので、最初は他人のいない所で良くいよきさせる方が効果がある。それでも直らない場合は、厳しく叱ることも必要であろう。
- ③ 女中が親ないし兄弟が病気なので1週間ほど休暇を欲しいと申入れがあった時は、1週間は長いから3日間にしろという話合いは無駄である。さっさと次を探す方がよい。1週間も休暇を要求し、荷物をもって出て行った女中はまず9分9厘戻って来ないからである。一般的にインドネシア人は人の悪口をあまりいわない。この家は気に入らないからやめたいということは仲々いえないので親、兄弟を病気にしたり、死亡させたりして退職するのである。
- ④ 多くの女中は使用者の品物、特に食料品(衣料品もだが)を若干ごまかすことは罪の意識を持たずにやる。米、砂糖、塩、油何でもである。調味料は月給に入っているので自分で買えと教えることが

必要である。教えてもなおかつ、少し気を許すと平気で繰返す。買物に行かせても実際に買った値段より高い報告をして差額を頂戴する。というところがまあある。あまりひどい場合は別として、少し位であれば月給のうちと諦めるのが良い。これも習慣の違いである。買物の場合女中が若干ごまかしてもかなり安く買ってくるが、日本人だと高くふっかけられて女中がごまかず以上に支払わされるという話もある位である。

- ⑤ だまっけてもこの程度は出来そうなものにとするのは甘い考えである。多くの女中はまずいにつけた以外のことはやらないし、いつけても十分なことが出来ないのが一般的である。例えば子守にしても子供を上手にあやしたり、あきさせないで遊んでやる工夫などはまず期待出来ない。その都度、何度でも教えてやる必要がある。
- ⑥ インドネシアは太陰暦で正月を祝う。これはインドネシア人にとっては西暦の正月よりもはるかに意味のある祭りである。使用者は1年以上働いている使用人に1カ月分のボーナスと服地1着分位を与え、4日～7日位の休暇を与える習慣になっている。女中は賄われて里帰りする次第である。採用後働かない者は若干の心付け程度で良いと思う。

しかし、レバラン(回教正月)が過ぎても帰って来ない者は決山いるので注意すること。

2. 運転手

一般的な考え方や使用方法は家事使用人と同様であるので省略する。

(1) 採用上の注意

- ① 運転が上手だとか、タクシーの運転手をしていたというふれ込みで来ても、下手な者がいるので注意すること。逆に運転は上手だが、

スピードを出し過ぎたり、無理な追越しや割り込み、レーシングを楽しむような者は事故のもとなので採用する前に同乗して試験する方が良いであろう。女中と異なりこちらは直接命にかゝるのでより慎重に採用する必要がある。

- ② 地理に詳しい運転手を雇うことがのぞましい。詳しい運転手になると住所をいっただけで目的地にびたりとつけてくれる。地図を見せても地図の見方が出来ないものが多いので、面接の際に調査すること。

(2) 待 遇

基 本 給 15,000Rp/月額

食事代・交通費 200~300Rp/日額

残 業 代 100Rp/時間

この他に夜9時過ぎには夜食代を出している人もある。又郊外へ宿泊させた時は1泊Rp 3,000程度払っているようである。

(3) その他の注意事項

ガソリンを抜くことがある。こわれたといつては適当な所で適当に修理し、請求書ないし領収書をもってくる。いろいろ先任者にきいて対策を考える必要がある。

第7章 光 熱 ・ 水 道

1. 電力事情

インドネシアの総発電電力量は約29億Kwhで1人当りにすると、わずかに2.2Kwh(ジャカルタ市のみをとると150Kwh/人)にすぎない。これは日本の3,500Kwh/人に比べ、問題にならないほどの少量である。

又、69年から73年までの第1次5カ年計画期間中の国営電力公社(P
L N)の電力供給量は年率5%で増加して来たが、その間の経済成長率は
約7%であり明らかに供給過小といえよう。このため、ジャカルタ市内と
いへども電力事情はあまり良くなく、電圧の変動、特に低下がある。従っ
て家庭によっては電圧安定装置(スタビライザー)を使用せざるを得な
い。停電は発電所に起因するものはほとんどなくなったが、その他の原因によ
るものが時々ある。

一般家庭用の電圧は基本的には110V50cyである。将来はこれを220
V50cyに変えて行く方針である。

電力料金は、毎月メーター検査員が来て、検針し、請求書を持って来る。
これをもって出来るだけ速やかに電力公社に料金を支払いに行く。1週間
以上滞納すると有無をいわず電気を切られる。切りに来た男にいくら事情
を話しても、全く無駄である。彼は命じられて電気を切ることだけが仕事
だからである。

電力公社(クバヨラン地区)

Jl. Singamangaraja I tel 73333~4

2. 水道事情

ジャカルタ市内の上水道の供給量はDPUT都市総局のデーターによる
と全世帯の45%である。このため半数以上が井戸水に頼っているのが現
状である。又第3章の保健衛生の項でも述べたように配管施設は老朽化が
著しく、各所で亀裂が生じている。このため水圧が低下すると管外の汚物
等が流入するので、生水の利用は注意を要する。

水源はジャカルタの東南約150kmにあるジャティルフル多目的ダム
より一般河川を利用して市内に導入している。浄水場はブジョンボンガン
にあり、フランス製浄水装置により3.3t/secで給水している。

以上のように供給量が小さいのみでなく漏水も多いところから、水圧低下および断水が時々ある。断水前後の水圧が下った時は、水が汚濁するので注意する必要がある。家の敷地外の水漏れやメーター修理は無料でやってくれるので水道局に連絡すること。

水道局(クバヨラン地区)

Jl. Ponjornihan 2 tel 581476

3. 家庭用燃料

家庭用燃料としては、都市ガス、プロパンガス(LPG)、灯油等であるがインドネシア人の低所得者層は灯油が一般的である。木炭も出廻っている。

(1) 都市ガス

都市ガスの普及率は約1%といわれ、国営ガス公社(PGN)のあるコタの南地区からメンテンにかけての1部のみである。利用世帯数は約6,000といわれているが、減少傾向にある。理由は公表4,200Kcal/m³にも拘らず、実際には3,300~3,500Kcal/m³とカロリーが低いうえには100年前に敷設した配管の老朽化が著しくロスがありガス圧が下るなど利用者の不満によるものと思われる。

同公社のガス製造量は1,000~1,200千Kcal/月である。

料金は1世帯20Rp/m³であるが、最低使用量25m³/月に加えて、メーター使用料1,200Rp/月 バイブ使用料900Rp/月をとられる。集金は毎月1日から15日の間に検針し、集金員が集金に廻る。又直接ガス公社に支払うことも出来る。

国営ガス公社(PGN) Jl. K. H. Zainul Arifin 20

(2) プロパンガス

プロパンガスはジャカルタの日本人家庭で最も多く利用されているも

ので、これは国営石油公社(プルタミナ)製である。ガスボンベ1本の容量は10kgで約110千カロリーであり、一般的に料理に使用するのであれば半月位は使用出来る。ガスボンベは最近入手難で、ガスレンジと込みで売るとか、1本25,000~30,000Rpと高くなっている。

プロパンガスの中味の料金 1本(10kg) 900Rp

クバヨラ地区の販売所

Nyola Permai (Elpiji Service)

Jl. Sultan Hasanuddin (Gas Station Block M)

tel 73996

(3) 灯 油

灯油コンロは比較的安く売っており、これを利用している家庭もある。灯油は灯油販売所があり購入出来る他、天秤をかついで売りに来る者が多数ある。カロリーが低い点が難である。灯油代は店により若干異なるとは30~40ルピア/ℓである。

第 8 章 通貨ならびに為替

1. 通 貨

現行の通貨呼称はルピア(Rupiah, Rpと略す)である。流通している銀行券は25、5、10、25、50、100、500、1,000、5,000、10,000Rpの10種類、コインは1、2、5、10、25、50、100ルピアの7種類であるが、政府の方針としては100Rp以下はコインに替えていくのとである。

外国通貨(米ドル、ポンド)は銀行およびホテルで自由に交換出来る。又ルピアを米ドルに交換する場合は銀行であれば可能である。ただし、ジ

ジャカルタはドル紙幣が払底しているため、金額が多額になるとドル紙幣がないといわれることがある。

日本円は東銀ジャカルタ支店およびその他一部銀行で交換可能である。(売買ともに)

2. 為 替

(1) 相 場

ルピアと対米ドル間のレートは政府の施策により全く固定しており、ほとんど変動はない。

基本交換レート

米 ド ル	S 1	Rp 415.00
日 本 円	¥ 1	1.39
シンガポールドル	SS 1	168.63
オーストラリアドル	AS 1	614.00
ドイツマルク	DM 1	161.25

米ドルを売る際は414~415ルピア、買い値は420ルピア程度である。

日本円の売り値は、1.36ルピア、買値1.48ルピア(東銀ジャカルタ支店)である。

(2) 対日送金

当地の銀行、例えば、東京銀行ジャカルタ支店を通じ送金出来る。

(3) 滞在費等の受取り方法

当地の銀行に口座を開設すれば問題はない。ドル口座を持てる。但し、住宅手前払金等でドルで引出す場合は1%の手数料を取られるので、多額に及ぶ場合は注意を要する。

専門家によっては、東銀信託ニューヨークに送金し、当地で引出している。直接ジャカルタへ直接送金する方法とは一長一短あり、どちらが

有利とはいえない。

但し、ジャカルタの例では、本部からの入金による、銀行からの案内が、東銀ジャカルタからは毎月20日前後にあるが、New Yorkからでは約1週間遅い。New York信託の小切手による東銀ジャカルタからの即時引出しは毎月600\$を限度としこれを越える場合は、New Yorkに残金照会(送金させる)してからでないと引出せないで時間を要する。

第9章 出入国管理

1. 出入国・外人登録およびビザの更新

入国の際はビザを取っておれば、全く問題はない。

JICAから派遣される専門家および家族は個人的に外人登録をする必要はない。又3カ月以上滞在する者はビザが切れても更新の必要はない。専門家にとっては、ビザはむしろ入国許可であって、ビザがあっても3カ月以上の滞在者は入国後速やかにインドネシア外務省の滞在許可をとらねばならない。滞在許可は1年しか与えられないので、1年毎に更新する必要がある。家族は専門家の滞在許可期間に合わせて発行される。途中呼寄せた場合、例えば半年以内であっても、専門家の滞在許可が切れる時に合わされるので同時に更新する必要がある。

任期が1カ月以内の専門家はビザだけで良いが、1カ月以上3カ月未満の者は出国許可のみをとる必要がある。3カ月以上滞在する者は帰国の際は出国許可をとる必要がある。これは調査団員にも適用する。

いずれも事務所が取得事務を代行している。

省によっては労働移住省の労働許可、又地域によっては警察の証明書、および労働移住省の許可を取れとそれぞれのオフィスから申入れがあるこ

ともある。この点についてはイ外務省に問合せたところ、全く必要ないという意見であった。しかし、各省や地域オフィスとの間にいらぬ摩擦を起さないためにも手続をしておいた方が良いと思う。

2. 税関検査

(1) 携行荷物

ジャカルタ空港の入国検査は非常に厳しく、公用旅券でもすべてカバンの中味を調べられる。同一種類の新しい衣類や品物、土産など多量に持込むと時により課税される場合がある。専門家は免税特権があるが、そのためには手続が必要であり、携行荷物には間に合わないので、課税対象になりそうなものはアナカンにすれば免税手続をとるので課税されることはない。(但し、引取りにかなりの日時を要する。)携行荷物持参の際の注意事項は次のとおり。

- ① ダンボール箱の携行は、カーゴ扱いとして、即日引渡が出来ないことがあるので使用しないこと。
- ② 携行品申告書(飛行機の中で配布)には、カメラ、ラジオ、テープレコーダー等1台ずつであれば、詳細記載せず、Personal Effects Onlyとのみ記入しておくこと。なお機内でスチュワーデスに問うと正確に申告した方が良いとアドバイスされるが、申告したために課税されたというケースが多いので専門家の場合は前述の要領で進めた方が、トラブルが少ない。
- ③ 新品は包装を解いてくることが望ましい。新品の包装のまま持込むと課税対象となることもある。

(2) アナカン

アナカンはすぐ引取れると理解している人が多いが、ジャカルタでは決して早くは引取れない。従って、到着後、すぐ必要なものは何とか携

行で持参する以外ない。しかし機行荷物は通関の際課税するというような問題があり、どちらにするか、非常に難しいところである。アナカン送付の際の注意事項次のとおり。

① 引取に非常に時間がかかる。現在ジャカルタの国際空港のエアーカーゴは政府の委託を受けた P. T. Kardik という会社が一切を取り仕切っている。このためエアウェイビルは航空会社からこの会社へ渡り、ここから我々の手元へ来るわけであるが、この会社が独占を良いことに非常に怠慢と事務能率の悪さで、エアウェイビルを引取るだけで何回も足を運ばねばならず、ひどい時には1カ月も放置され、引取れないことがある。

その後、当事務所で免税手続(約1週間を要す)に時間がかかり、更に引取り業者に依頼して通関業務に10日~15日ほどを要し、はじめて手許に届くわけである。

② アナカンを送る際は、必ずエアウェイビルナンバーを聴いてくるか、写をもらって来ること。従来、荷物が着くと日航は必ず連絡してくれたし、キャセイも連絡してくれることになっているが、ハリム新空港と都心間の電話状態が非常に悪いため必ずしも十分な連絡が得られない。このためエアウェイビルのナンバーと到着日を示すことによってオリジナルが探し出せるのである。

③ 保管料は重量により計算されるが、日数により累進制をとっているので1日も早く引取れば割安である。現在利用している業者は1週間以内に引取り手続を完了する前提で保管料込みで、手数料としてキロ当たり500ルピアでやっている。

(3) 任国外旅行の手続

公務、私用を問わず、任国外に旅行する場合は、技術協力調整委員会

を通じ、イ外務省より出国許可ならびに再入国ビザを申請取得する必要がある。

時間的には1週間以上の余裕をもって、事務所に申出ていただければ、事務所が手続を代行する。

任国外旅行は事業団本部の承認事項であるので、イ側の休暇承認書ないし出張命令書を添付のうえ、事前に申請する必要がある。

旅行先がパスポートに記載されていない国であれば、渡航先追加を総領事館にお願いする必要があるが、いきなりパスポートを持参しても、JICA事務所の承認がないと総領事館では受け付けてくれないので事前に事務所と相談すること。

いずれも事務手続上の問題であって任国外への旅行が制度上困難というわけではない。

3. 持込・持出禁止品

(1) 持込禁止品

国際的に禁止されている物以外でインドネシアが持込禁止をしているものは、国内産業の保護・育成という観点と思想面に係る観点からのものに分れる。

このうち特に専門家とのかかわりがあるものを列記すると、次のとおりである。

輸入禁止品目リスト

- 蚊取線香
- 自動車(プロジェクト用作業車は事前許可を取得すれば輸入可)
- オートバイ
- ラジオ
- 自転車

- テレビ
- インドネシア語の本、雑誌その他印刷物
- 味の素

この他にマッチ、包装紙、白地絹織物、バティック織物、乾電池等がある。なお現在(1974年6月10日現在)は輸入が認められているが、国内産業の育成およびぜいたく品の抑制という見地から、次のものを輸入禁止にしようとする動きがあり、インドネシア政府内部(工業省)において検討中である。

- 冷蔵庫
- クーラー
- 洗濯機
- 電動ミシン

自動車の輸入禁止はわれわれ外国人にとっては最大の問題であるが、インドネシアで組立てたものを免税で購入出来るので、これを買う以外ない。

ラジオは専門家用として1台程度持参してくる場合はだいたいにおいて問題なく通関出来ている。

蚊取線香は、別送で送った場合や大量に持込んだ場合、没収されたケースもかなりあるので、分散するなど注意すること。

(2) 持出禁止品

重要文化財、検染鳥

第10章 便宜供与

(1) 便宜供与

- ① 住宅：ランボン農業開発プロジェクトでは官舎を1部専門家用に建設、提供してくれている。又養蚕開発プロジェクト長期調査員には、官舎を安く提供してくれた以外はすべて、専門家の個人負担である。住宅手当として現金の供与もない。
- ② 出張旅費：公共事業省、農業省、労働省、情報省、パナマス等この省、総局でも一応予算をもっており、業務出張については、出張旅費を提供している。たゞし予算額に限りがあるため、十分であるとはいえず、1部金額が少ないとか直ぐ支給されないなど問題はあ
- る。
- ③ 公用車：一般的には本省といえども車の数が十分ではなく、かつ各々の車が個人に張り付けられているため、専門家の通勤に供されることはかなり困難である。一方出張等で任地外へ行く際は其の先々で用意してくれるのが一般的である。
- 通勤用の車の提供に代えて、ガソリン代を金券にて提供してくれるところがある。

(2) カウンターパート

各総局ともに英語の出来るカウンターパートを配してくれる。しかし、カウンターパートの質、性格は各局により若干その位置づけが異っており、本省のアドバイザーは総局長ないし局長など行政官ともいえる人がなっており、技術のトランスファーをするには問題が多い。

(3) 免税特権

① 荷物の輸出入の免税

政令第19号(1965年)により専門家については、身用品、電気製品、食料衣料等輸入禁止品以外はすべて、いつでも免税輸入出来る。又輸出も出来る。自動車については、インドネシア国内で租立車を免

税で購入出来る。

③ 所得税の免除

政令により専門家については一切所得税は免除される。

第 11 章 言語、刊行物および放送

1. 言語

(1) 公用語

公用語はインドネシア語である。インドネシアは 13,000 余の島嶼からなる群島国家であり、このうち約 5,000 余島に人が住んでおり約 250 余の地方語が話されている。従ってジャカルタを一步はなれるとそれぞれ異った地方語をもっている。

しかし、小学校からインドネシア語の教育を義務づけており、就学率 65 %といわれる教育の普及と相俟って、インドネシア語はほぼ完全に全国に普及しており、何処でも一応話が通じる。

それでも地方ではその地域の言葉が日常には話されており、年寄りなどはその地方の言葉でないと通じないこともまゝある。又その地域の言葉の話すとより親密感を与えるようである。

外国語は英語が最も普及しており、どこかの役所でも管理職は勿論中堅職員は一応英語が出来る。オランダ語は一部上流階級のみで、次第に力を弱めている。しかし本屋には、英語の本と並らんでオランダ語の勉強用の本も結構ある。

(2) インドネシア語事前学習の必要性

インドネシア語を事前に学習することは大いに必要である。家庭では女中、運転手、又一步外へ出れば買物等はほとんどすべてインドネシア語

を要求される。それ以上に、仕事上もかなり多くの報告書・文献等がインドネシア語で発行されており、これらを理解することは業務遂行上、大変有利である。

しかしながら、英語があまり得意でない人が、中途半端なインドネシア語を話すことはいろいろ問題があるのではないかと思う。英語はこの国の人にとっては一種の Status Symbol であり、英語が出来るカウンターパートが配されるので、英語に自信がある人は別として、英語があまり堪能でない人は、事前学習の時間を英語に廻した方が良いと判断する。現に英語があまり上手でないというより下手なために、イ側からクレームがついた事例もある。英語の堪能な人は是非ともインドネシア語を勉強してくることをおススメする。

2. 刊行物

(1) 一般刊行物

ジャカルタ市内には本屋はかなり沢山あるが、日本語の刊行物は全く売っていない。

英語で書かれた小説や技術書は Gunung Agung という大きな本屋に行くと若干はあるが十分ではない。

英字新聞は次のものがあり、電話で注文するとクバヨラン等の住宅街であれば戸別配達もしてくれる。近所で取っている人を通じ配達人に申込むことも出来る。

The Indonesian Times

Jl. Hayam Wuruk 8 tel 49332

Indonesian Observer

Jl. M. Sangji tel 43230

(2) 日本の新聞・雑誌の購読

日本の新聞、雑誌等の定規購読は当地に下記のエイジェントがあり、契約すれば可能である。但し、取扱い商品は限定されており、希望のものを取寄せてもらうことは出来ない。又定規購読制であり、欲しい時だけ買うことは出来ない。取扱品以外を希望する場合は各自、日本より送付依頼する以外ない。

エイジェントに申込みとクバヨラン等の住宅街であれば、戸口配達をしてくれる。ジャカルタ以外の地域へ配送してもらう場合は配達料をとられる。

このエイジェントは、海外新聞普及協会の代理店で元日本人の職員がいる。

○ Tirma Niaga Raya

Jl. Pangeran Jakarta Dalam 15, Kota tel 20392

友田氏又は鹿毛氏、

購読料は次のとおり。

取扱品目および購読料

50年1月1日現在

朝日新聞	16,750	週刊新潮	3,200
毎日新聞	16,750	週刊文春	3,200
読売新聞	16,750	週刊ポスト	3,600
日経新聞	16,900	週刊現代	3,600
サンケイ新聞	14,300	週刊朝日	3,200
日刊工業新聞	13,600	サンデー毎日	3,200
日刊スポーツ新聞	8,250	アサヒ芸能	3,200
報知新聞	8,250	週刊読売	3,200
JAPAN Times(国)	10,800	週刊女性	4,550
JAPAN Times(空)	7,300	週刊マンガ	4,050
J. E. J.	1,800	女性自身	4,550
デイリーヨミウリ	6,150	週刊マンガアクション	4,100
アサヒブニングニュース	6,850	週刊大衆	3,200
マイニチデイリーニュース	8,800	ミセス	2,500
JAPAN Lumber Journal		主婦の友	3,100
スポーツ日本	8,250	文芸春秋	1,500
中日新聞	14,100	小説現代	1,500
インドネシア通信	8,800	宝石	1,500
日刊木材新聞	5,750	小説新潮	1,500
鉄鋼新聞	8,600	婦人倶楽部	3,900
大阪繊維新聞	7,000	エコノミスト	3,400
繊維研新聞	3,400	毎日グラフ	4,700
金属特報		アサヒグラフ	4,700
化学工業日報		ダイヤモンド	4,350
電波新聞			
産業経済新聞	7,200		

単位 Rp

3. 放 送

(1) ラジオ放送

ラジオ放送は情報省の管轄下にある国营ラジオ放送局（RRI）の本部局がジャカルタにあり、中央局がメダン、ジョクジャカルタ、ウジュンパンダンの3局、地域局が42局ある。ジャカルタでは朝6時から夜12時まで放送サービスがあり、朝7時20分から45分まで、午後5時30分から6時まで、それぞれ英語放送を実施している。それ以外はすべてインドネシア語である。聴取料はジャカルタの場合、月50 Rpである。

その他民間放送局がジャカルタだけでも40局あり、これは主として音楽、ラジオドラマ、そしてラジオ広告が主要内容である。すべてインドネシア語放送である。

英語放送としては、BBC、VOA、ABC、が良く聴取出来る。ラジオジャパン（NHK）も一時間おきに30分ずつ放送しており、前半15分は英語、後半15分は日本語でニュースが主体である。ラジオジャパンを聴取するには、NHKによると3バンドのトランジスタラジオが望しいとのことである。アンテナを屋外に張ると良く聴えるとのことであるが、インドネシアは雷が多いので、十分注意する必要がある。なお、放送周波数に合わせたクリスタルを日本から購入してくると周波数を採す手間はなくなる。これはNHKに問合わせると親切に教えてくれる。

(2) テレビ放送

テレビ放送は国营テレビ放送局（TVRI）があり、毎日午後5時から11時まで放送している。番組制作はジャカルタ、ジョクジャカルタの2局で、パンドン、スラバヤ等ジャワ島内のみで7局の中継局がある。

外領には実験局が4局あるのみである。聴取料は月200Rpである。

現在テレビ放送は白黒であるが、近くカラー放送を始めたいとして、準備をしているが、白黒の普及率でさえ極くわずかであり、カラー化については政府内部でも異論あるとのことであるので、実施はかなり先になりそうである。

放送内容はニュース、娯楽番組等インドネシア語であるが、アメリカ映画を放送しており、これは英語でやっている。

第12章 気候、治安および風俗・習慣

1. 気 候

インドネシアは赤道沿いに東西約5,000km南北2,000kmの範囲に13,000余の島嶼群が点在しており、その面積は日本の約5倍に達する。又世界有数の火山国で3,000m以上の高山が40以上あり、気候は地域によって変化がみられる。

ジャカルタはほぼ赤道直下、南緯6度に位置しており、インドネシアの都市で最も暑い都市の一つである。毎月の平均気温は一年を通じて26°~27°Cで、年間温度差はほとんどない。しかし一日の気温較差は大きく、日中の最高(約33°C)と夜明けの最低(約24°C)の差は約10°Cほどで、朝夕は比較的しのぎやすい。又寝る時は暑くて裸で眠ってしまうと明け方に風邪を引くことがある。インドネシアの気候は一般的に雨季と乾季に大別される。ジャワ島は5月から10月が乾季で、11月から4月が雨季である。雨季になると毎日一度は雨が降り日によっては朝から降ることもあるが、一般的には午後3時頃集中的に降るいわゆるスコールである。年間降雨量は平野部で約2,000mm、山岳部で3,000mm以上、ところによ

っては4,000mm以上に達する。年間降雨量の大部分は雨季に集中する。

2. 政情・治安

(1) 政 情

スハルト大統領は、総選挙によって選ばれた国会議員等によって構成される国民協議会において合法的に任命されたもので、民主的に誕生したものであるが、その実情は軍事政権的色彩の濃いものである。

1965年の9・30事件以降共産党は、非合法化され、かつデモおよび集会（集会は許可制）が規制されているなど大衆運動は行ない得ない状態である。

現政権の安定度を占ううえで重要な、スハルト大統領の対抗馬ないし後継者と目される人は、一寸見当らない。

国会および政党が有名無実化しているので、急激に政権交替があるとなれば、軍人の中からドラマチックな形で出る以外ないであろう。

事実1昨年頃より一部高級軍人や官僚の間に黒い噂が流れ、スハルト政権の姿勢が問題となったが、これも1974年1月の田中前総理の訪問の際の反スハルト派の暴走により、現政権批判分子は整理され、むしろ現政権のたがの締直しの機会を与えた感がある。

勿論、現政権もこの機会に体制の建直しをはかる一方、一部の批判に応えるなど、反省を示しており、こゝ当分は現政権が安泰であると思料される。

(2) 治 安

街の治安という面では、軍人、警察権力が強い割には犯罪が多い。

特に最近の世界的インフレのおおりに受けて、ジャカルタでも物価上昇が激しく、かなりの部分を占める低所得者層の生活は非常に圧迫されており、スキあらば犯罪をおかしかねない予備軍的性格者は、相当いる

と思われる。

日本大使館近辺でも追はぎ、強盗が出没したという話もあり、コンドロ、置引きの類はかなり多いといわざるを得ない。

おが国の専門家にも、夜道や人混みで腕時計を強奪されたとか、家にドロボーが入ったとかいう話は沢山あり、どれもが犯人がたい捕されたという話は聞かない。

具体的事件を例記すると次のとおり

- ① 夜道を一人で歩いている、ナイフをつきつけられ、腕時計を強奪された。
- ② ホテルのロビーに大きなカバンと一緒に貴重品を入れた小さいバッグを置いて一寸をはなれたスキにバッグが紛失（盗難）
- ③ 帰宅のためヘリチャに乗り込んだとたん賊にナイフをつきつけられ腕時計を強奪された。
- ④ サリナデパートの前で夜、一人歩きをしていて3人組に囲まれ、多額の金品を強奪された。
- ⑤ 自宅の応接間に置いておいたラジオが、女中が掃除のため、門の鍵を開けておいたほんの一寸したスキに紛失（盗難）した。
- ⑥ 自宅の中庭に干しておいた衣類を屋根づたいに入った賊により持去られた。

以上はほんの一例であり似たような例は枚挙にいとまがないほど多い。

これらについて警察に届出た場合、捜査費を請求されたという話が多く、品物が戻った例はほとんどない。

従って夜道の一人歩きはしない、出歩くときは大金を持たない、ラジオ等高価品は、出掛けるときは寝室に入れて鍵をかけるなど自衛する以外ない。

仮りに強盗に会ったら、腕時計なり若干の金品なりを与えれば、犯人は逃走するので、間違っても抵抗して、ナイフで刺されることのないようにした方が良い。

勿論、日本でも犯罪は沢山あり、それに比してジャカルタだけが多いというわけではなく、開発途上国はどこでも貧しきゆえに、ついつい悪事をはたらくことが多いという程度である。

かなりの専門家が被害に遭ったとしても全体から見れば、そう多くないので、必要以上に神経質になることはないが、常に注意をおこたるべきではない。

(3) 緊急時の連絡

現在の状況から判断するに緊急事態が近く発生する要素は小さいが、1974年1月15日の田中前総理来訪時にも誰もが予想し得なかった事態の発生に鑑み、ジャカルタ事務所では、緊急連絡の場合の電話連絡経路図を常時作成し、不測の事態にそなえている。

緊急連絡すべきニュースは、当初大使館参事官より技術協力担当書記官を通じて事務所長に入ることになっている。事務所長はこれを所員に流し、以降経路図に従って、各専門家に連絡するシステムである。

(4) 対日感情

第2次大戦末期に日本軍のとった措置は、むしろインドネシアの独立に協力したとして感謝されており、対日感情は良いといえる。かえって、わが国の自動車、トランジスターラジオ等に代表される工業力は、インドネシア人の敬意と羨望の眼で見られるほどである。

1974年1月の田中前総理のジャカルタ訪問時には反日的暴動が発生したが、これは日本企業の無節操な進出とインドネシア現政権に対する不満とが、混然として爆発したものであり、裏を返すと政府に対する不

満が充満していたもので、これに対するはげ口として、オーバープレゼンス状態の日本に対し、反日行動に出ることによって、政府批判を示したものだといえよう。

現にインドネシア知識人の意見をきくと、決して日本に対する不満ではなく政府に対する批判であったという見方が強い。

従って日本人個人に対するいやがらせ等はほとんどないと思われる。

しかしながら、われわれ日本人はアジア人であり、欧米人に比してはるかにインドネシア人に近く、彼等も近親感をもっている。日本人が彼等に対しあたかも支配者ないし、優越民族の如く振まうならば必ず反発を食うであろう。ジャカルタには、数千名の日本人がいるといわれ、その行動は何かと目立つので、節度ある行動をとるとともに相互理解の気持を常に忘れないことが反日感情を醸成させないために重要である。

3. 風俗・習慣

インドネシアは13,000余島で構成されている世界最大の島嶼国家であり、その中に300以上の種族が250以上の言語を話し、それぞれの習慣をもって分布している多様国家である。従って、風俗・習慣および経済活動は多様を極めている反面、政府の施策とコミュニケーションの発達により、一般化、共通化され、統一化されつつあることも事実である。中心はいうまでもなく人口の約65%を占めるジャワ島であり、政府の中樞はジャワ人に握られているといっても過言ではない。宗教的には世界の大宗教はすべて分布しているが、全体の90%をしめるイスラム教の影響は絶大である。又、300年に及ぶオランダの植民地支配の影響で西洋文明、西洋の習慣が取入れられ、この国の文化は益々多様化、複雑化された面をもっている。例えば、インドネシア人は友達に逢う時、又、初めて人に紹介された時は握手をするし、名刺を出すのが一般的であるようになり西

欧的習慣をもっている。

このような背景のもとにいろいろな風俗・習慣があり、一概にどうとはいえないが、インドネシアの習慣を全く無視して、日本的風習を押し通すことはヒューマンリレーションを重要とする技術協力においては得策ではない。インドネシアの風習について、たとえ無視しても、われわれ日本人であれば、外国人だからということで大目に見てくれると思われるので、神経質になる必要はないし、日本人が全くインドネシア人と同様の生活することは不可能であるが少くとも彼等の風習を理解し、無意識のうち相手に不快感を与えるようなことを避ける努力をするべきである。

一般的風習を次に列記する。

① 右手を使うこと。

インドネシア人は排泄後の処理に紙を使わない習慣が一般的である。事後水洗するわけであるが、この際必ず左手で洗浄する。このため、左手は非常に不衛生なものであると考えているので、物を持ったり、他人に渡す時は必ず右手を使う。特に食べ物やお金については、日本人といえども、インドネシア人に渡す時は絶対に右手を使うようにした方がよい。

② 豚肉を食べない。

これはコーランに豚は不浄な動物であるとあるところから来ているようで、イスラム教徒はまず食べない。最近ジャカルタのような都会では平気で食べる者もふえているが、熱心な信者は絶対に食べないし、それほど熱心とも思えないものでも食べないのが普通である。インドネシア人を招待するような際は事前に確認しておく必要がある。なお、われわれ外国人が豚肉を食べることについては、習慣の違いと

割切っていて抵抗感はないようである。

③ 犬が嫌いである。

これも又、コーランから来た宗教的なもので、非常に犬を嫌う。インドネシア人を招く時は放し飼いにしないよう気をつけること。逆にドロボーよけにはかなり効果があるようだ。

④ アルコール類はあまり飲まない。

これも宗教的なものである。コーランには聖書の十戒に当るような五戒があって、これはドロボー、姦淫、飲酒、ギャンブル、麻薬を禁じているそうである。インドネシアには酒類の販売は勿論、公営カジノがあり、ドロボーは多く、赤線・青線もあり、とても五戒が守られているとは思えない。しかし、一般的にはアルコール類は嫌いな人、飲まない人が多いので、日本的に無理強いさせるようなことは慎むこと。又泥酔するほど飲むことも避けること。

⑤ 人差指で人を差し示さない。

日本人にとっては文字どおり人差指であるが、インドネシア人にとってはあまり愉快なものではないそうである。インドネシア人は頭で指すというか、首を横に振って差ししめすか、親指で差ししめすのが一般的である。

親指のことをジャワ語（インドネシア語化されつつある）でジュンボールといい、これは「素晴らしい」という意味もある。

⑥ 頭をなでないこと。

日本人でも大人の頭をなでることはまずないが、可愛い子供や、良いことをした時には良くなでる習慣があるが、インドネシア人は頭には決してさわらない。子供が可愛いという時には頬をつねる。全く見ず知らずの人や、近所の年上の子供にわが子をつねられることがま

ある。これは可愛い証拠だそうで喜ぶべきことなのだそうだ。頭にさわわることを嫌う理由としては、特に理由はないが、要するに失礼であるということ、きたない手でさわるといことで嫌われているようだ。

⑦ 腰に手をあてないこと。

西欧人は良く腰に手をあてて立話をしているし、日本人でも恐った時などは腰に手をあてるが、インドネシア人は相手と話をする際、腰に手をあてるということはまずない。腰に手をあてる時は敵対心を現わしている時だけだそうである。

⑧ 足を組まないこと。

年長者や、上司と一緒に椅子に坐っている時足を組むことは不遜な態度なのだそうである。ましてや夫人方が、足組みすることは避けた方が良くといわれている。

⑨ 午睡の習慣がある。

インドネシア人は通常、早起きである。その代り午睡の習慣があるので、午後5時以前の訪問は差支えた方が良く。

⑩ マンディの習慣がある。

マンディとはお風呂に入ることという場合もあるが、一般的には、インドネシア式風呂を指す。即ち風呂に入る代りに水をかぶるのである。マンディ場のない者は川で水浴する。これもマンディである。暑いので汗をながすためであろうが、これが習慣になり、うすら寒い日にも元気良く水を浴びている。1日3～5回位やっており、日本人が1日1回風呂に入るよりもはるかに清潔であると思っているようだ。

⑪ お祈りすること。

イスラム教会、即ちモスクからは毎日5回必ず読経の声が拡声器にのって町に流れ出て来る。熱心な信者は1日5回、朝4時、昼12時、

午後4時、夕方6時、夜8時に室にとじ籠ってお祈りをする。一般的には金曜日の12時にモスクへ行く者が多い。ジャカルタのある合併企業の労働者が、お祈りの時間を要求したという話があるし、個人の運転手や、女中でも熱心なものは時間を要求する者がある。信教の自由からいっても、頭から拒否すべきでなく、対応してやる必要がある。早朝4時にガナリたてられるのは外国人にとっては安眠妨害である。

⑫ ハジ

ハジというのはアラビアのメッカに巡礼した者に与えられる名譽ある尊称である。ハジになると一般の黒い回教帽ではなく白い帽子をかぶれる。なんの変哲もない帽子だが、回教徒にとっては最大の憧れの的であり、この帽子をかぶっている者は心なしかいずれも得意そうである。

ある日本語を勉強している女子大生に日本とメッカとどちらへ行きたいかとたずねたら、暫く考えて、思い切ったように日本といったのは何とも複雑な気がした。それほど憧れの地である。百姓が田畑を売って行ったという話もあり、とにかく毎年3～4万人が行っている。

⑬ 名前について

インドネシア人の名前は親子との関係は全くなしにつけられる。日本人なら必ず姓は同じであるが、彼等は10人兄弟であっても名前からは判断出来ない。一般には2語であるが1語のものもある。(例、スハルト大統領)、中には3語のものもある。名前を呼ぶ場合はまずファーストネームを呼べば間違いない。ジャカルタ市長をサディキン市長と日本の新聞は書いているが、インドネシアは「アリ」ないし、パパアリ、正式にいう時は、アリ・サディンであって、サディキンのみをいうのは西欧的習慣によってまねているだけである。

従って、ホテルの予約の時などうっかりすると日本人に対しても姓ではなく名前で登録されてしまい、呼出してもらおうと思っても、宿泊名簿にないといわれることがある。

例えば名前の欄に、Taro Yamadaと書くと、Taro で登録されるわけである。

⑭ 招待について

インドネシア人が社交的かどうかは知らないが、家に遊びに行ったり、招いたりしてやると大変喜んでくれる。日本人のみでなく、外国人とつきあうのが珍しいのか、又は名誉なのか、とにかくかんげいしてくれるので、出来るだけ行ったり、招いたりすると理解の助けになる。

⑮ お茶などについて

インドネシア人を招いた場合、お茶を出しても仲々手をつけない。すゝめられてからでないと思わない習慣であるので、飲物を出したら、「どうぞ」といってやる必要がある。又逆に招かれた際は、お茶などが出ても、あわてて飲まないこと。「シラカン(どうぞ)」といってくれてから手を出すこと。なお、百姓屋などへ行った時、生水とおぼしき物が出て、飲みたくなくてもすゝめられた時は、飲む振りをして口をもって入ってから飲まずに置くのが礼儀だそうである。グラスに手もつけずというのは失礼に当る。

⑯ 迷信について

インドネシア人は迷信と思われるようなこと、特にゆうれいを信じている。不思議なほど真剣に信じている者もいる。昼の12時頃や夕方6時頃には外出してはいけない。火曜日と土曜日は旅行に出てはいけない。玄関の入口の所に坐ってはいけない。その他、ゆうれいにま

つわる話は沢山ある。一概に軽べつせず、聞いてやると喜ぶ。

⑰ 内向的性格

インドネシア人は(ジャワ人)内向的であり、忍耐強い国民である。面と向ってはめったに他人の批判をしない。反面、勘忍の緒がきれると爆発することがあるので注意すること。

又、批判されるとしたら余程目に余るものであると大いに反省する必要がある。

⑱ チップについて

チップの習慣は日本よりは一般的といえるが、必ずしも強制的印象はない。ホテルおよび一流レストランはサービス料10%が加算されており、チップをやる必要はない。但し、ホテルのルームボーイには用事をいづつけた時、50～100 Rp やっておくと、次からも良くやってくれる。空港のポーターは荷物の個数、重さによりサービス料金が掲示してあるので、チップとはいえないかも知れないが、普通ケース1個75～100 Rp 程度。タクシーは不要であるが、大部分の運転手は一応要求する。

⑲ ゴットンロヨンについて

いわば相互扶助の精神のことであり、困ったものがいたら助けるのが当たり前ということである。農繁期の労働力の相互提供という形から、道で車が故障した際などは村人が沢山来て助けてくれる。又、兄弟のうち1人でも出世したり、金持ちになると一族郎党が集まって、世話になる。これらは皆コーランによる恵み与えることの出来る者は幸せなりという精神から来ているものであろう。

ここに紹介したのはほんの1部で他にもいろいろあり、地域によって異なるので注意する必要がある、少しずつでも覚えて、理解していったら

良いと思う。反面1部の風習は大都会においては次第に忘れられていきつつあるのも事実である。

第13章 娯楽・レクリエーションおよびスポーツ

1. レクリエーション

(1) ジャカルタ案内

ジャカルタは大きくわけて3つに分けられる。いわゆるコタ地区は17世紀のオランダ統治時代に発達した旧パタビア市街で、現在は銀行、商業の中心である。メンテン地区を中心としたジャカルタ中心部はオランダ統治時代の高級住宅街として発展し、現在は、新官庁街の中心地である。クバヨラン地区は、戦後の都市計画の一環として建設された。新興高級住宅街で、ジャカルタの中心地より南西約8kmの地点にある。主な見どころは次のとおり。

1) メンテン地区(中心部)

○ タムリン通り

独立(ムルデカ)広場から南へ、ホテル・カルチカプラザ前に至る新官庁街の中心地。宗教省、中央銀行、サリナデパート、国連ビル、プレジデントホテル、ホテルインドネシア等のビルが立ちならんでいる。日本、オーストラリア各大使館があり、ソ連、大使館が建設中である。

○ イمام・ボンジョル通り、ディボネゴロ通り

ホテル・インドネシア前から東へ、インドネシア大学までのびる官庁街で、各国の大使館及び公邸が多い。両通りの接点にバベナスがあり、その前に日本より寄贈した友好親善3婦人像が据えられて

いる。

○ ホテル・インドネシア

日本の賠償担保借款800万ドルで建築したもの。1959年に着工、1962年に完成した。14階建。1974年4月に増築し、現在総室数は780である。

○ スサントラ・ビルディング

当初、純賠償工事として1,400万ドルでホテル・インドネシアの向い側に着工したが、賠償担保借款の支払い不履行のため賠償による資金調達が困難となり、30階分の鉄骨のみを組み終ったところで中止の己むなきに至った。

その後、ウィスマ・スサントラ・インターナショナル会社(三井とインドネシア政府との合併)が約2,000万ドルを追加し工事を進め、1972年12月に完成、開館した。同ビルは、地下1階地上30階で、高さ110米である。

○ 日本大使館

日本大使館は1965年に着工し、1967年3月に完工した。9階建で、総床面積は約7,200平方メートル。

○ サリナ・デパート

日本の賠償担保借款1,100万ドルで建設したもの。1963年に着工、1966年に開店した。全建物をサリナ会社が経営する。資本の大部分は政府所有。地階及び1～4階を百貨店、5階サリナ・デパート、事務所6～7階、ヘルスセンター8～11階を各企業が事務所として使用し、12～13階料理店、14階ナイトクラブに使用している。

○ ジャカルタ・センター

サリナデパートの北側にある建物で、中に映画館及び賭博場(カジノ)がある。

○ 独立宣言場

ディボネゴロ通りの北、ブガンサン、ティルーム通り56番地のスカルノ邸跡。

1945年8月17日故スカルノ大統領とハッタ元副大統領がインドネシア共和国の独立を宣言した場所。現在記念碑の後方に白亜5階建の産業開発展示館がある。

○ 独立広場及び国民記念塔(MONAS)

スカルノ政権時代には例年8月17日の独立記念式典に、ジャカルタ市民50万人が集まった広場で中央に高さ110メートルの国民記念塔があり、その上端の金箔の炎の高さは約10メートルある。炎の部分は30キロの金を使った金張りで、塔の部分は男性を表わし、台座の部分は女性を表わし、全体でインドネシア国民を表わしている。広場内の事務所に申し込んで頂上までエレベーターで登ることができる。

広場の北に大統領官邸、西に博物館、ラジオ放送局、南に電信電話局、東にガシビル駅がある。広場の南側約 $\frac{1}{3}$ はジャカルタフェアの敷地で毎年6月から7月にかけて、世界各国から各種商品が出品展示される。

○ 大統領官邸(ムルデカ宮殿及びネガラ宮殿)

大統領が公務を行なう場所で国賓のための大ホール、大統領のためのモスク(回教寺院)がある。

元オランダ総督の官邸であった建物である。

○ 国立博物館(MUSIUM PUSAT)

ムルデカ広場の西側にある。

1868年（明治元年）に建てられたオランダ風の美しい建物で、タイ国王から贈られた象のブロンズが正面にあるところから象の建物（グドンガジャ）と呼ばれている。

多数の石像、インドネシア各地の文化遺産、古代発掘品、中国及び日本から渡来した陶磁器が陳列されている。

なお、2階にある特別室（日曜のみ公開）には各地方のスルタンが使用した王冠、装飾品、祭礼具等黄金作りの品々が展示されている。

ここでワヤン（陰絵芝居）が月2回演ぜられる。

開館：月曜を除き火、水、木、土、日は午前8時30分～午後2時30分、金曜は午前8時30分～午前11時30分。

○ イスティクラル・モスク（大回教寺院）（ISTIQLAL）

ムルデカ広場の北に建築中の巨大なモスク（回教寺院）で、スカルノ時代に着工されたもので、現在完成が急がれている。完成後は東南アジア最大のモスクとなる。

○ タマンイスマイルマルズキ（TAMAN ISMAIL MARZUKI）

チキニラヤ街にある。ジャカルタの文化センターと云った存在でプラネタリウム、巨大な野外劇場（インドネシアの伝統芸能が演ぜられる。）劇場（詩の朗読、近代演劇が行なわれる）展覧会場、映画館がある。この場所はインドネシアにおける著名の文化人であったイスマイル・マルズキにちなんで名づけられたものである。

○ 日本人納骨堂

ジャティ・ブタンブラン墓地内にある。本納骨堂は1960年11

月に完成した。現在無名の者を含め54柱が安置されている。年2回お彼岸に慰霊祭が行なわれる。

○ バンテン広場

独立広場の東方にあり、中央に西イリアン解放記念塔が立ち、広場の半分はバス・ターミナルとして使用されている。

なお、この一角にインドネシアの超高級ホテルボロブドールが完成、1974年3月にオープンした。総部屋数866。

○ パッサル・パル―商店街

ジャカルタで最も賑やかなショッピングセンター。高級商店が多く、いわゆるジャカルタ銀座。

2) クバヨラン地区

○ アグン・アルアズハル回教寺院 (AL AZHAR)

1958年に完工したジャカルタ最大の寺院で収容人員5千人。青空をバックにくっきりと白い姿を見せるこの寺院は絵のように美しい。

○ パッサールブロックエム

新開地にできたショッピングセンターで、食料品、衣料品、電気製品は勿論、木彫やパティク等の土産品店があり、賑やかである。

3) スナヤン地区

○ スナヤン競技場 (COMPLEX SENAYAN)

ソ連よりの1,250万ドル借款で1958年に完成、同年第4回アジア競技大会、1963年新興国スポーツ競技大会 (GANEF0) が開催されたところで、メイン・スタジアム、水泳場、各種室内競技場の近代スポーツ施設がある。特にメイン・スタジアムは、ソ連のレーニン競技場を模倣したものと云われ、大鉄傘に柱を使用せず、観

客席に屋根があるのが特徴で、収容人員は10万人。なお、この競技場に隣接して、ゴルフ場、アイス・スケート場、射撃場、映画館、ナイトクラブ、レストランがある。また、ここにドッグ・レースがあり、毎週水、土、日曜日の夜8時からレースが開催される。

○ 国会（DPR）及び国民協議会（MPR）議事堂

スナヤン競技場の北西隣りにあり、ともに中共の援助によって新興国会議（CONEFO）会議場として、建設中であつたが、1965年9月30日事件（共産党のクーデター）で計画が挫折した。その後インドネシア側が自力で、DPR及びMPR議事堂の部分のみを改築し、1968年に完成使用を開始した。

○ ジャカルタ首都管区警察本部

スナヤンの立体交差道路をはさんで、スナヤン競技場の東側にある。

○ 兵士博物館（MUSIUM ABRI）

警察本部東方、ガトット・スプロト通りにあり、もとデヴィ夫人の住いで故スカルノ大統領がボゴールからジャカルタに出た場合の居所となっていた。

1945年のインドネシア独立に際しての写真及び人形による戦争の再現場面、兵器等が展示されている。

開館：月曜日を除き毎日午前9時から午後5時。

○ G. K. B. I.（インドネシア・パティック協同組合連合会）の更紗（パティック）陳列場

特産品のパティック（ジャワサラサ）（特にジョクジャカルタ、ソロ及びブカロガン産）を陳列、一般に販売されている。営業時間は、日曜を除き、月、火、水、木曜日午前8時～午後4時、金曜日

前8時～11時、及び午後2時～午後4時、土曜午前8時～午後1時。メンテン地区サバン街には、販売所があり、日曜を除き、午前8時～午後8時まで開店。

○ グラハ・プルナ・ユダ (GRAHA PURNA YUDHA) と
ベテラン・ホール

スナヤンの立体交差道路ぎわに立ち空とぶ円盤のようなベテラン・ホールと、17階建の通称グラナダビルで、インドネシア4軍、(陸、海、空、警察)の兵士たちの大集会場及び事務所となっている。1973年3月に開館された。

4) コタ地区 (含魚市場)

17世紀頃建設された旧バタビア市街である。現在は銀行、商業(輸出入、卸、小売)の中心地で華僑が多い。魚市場、グロドック市場(肉、野菜)朝市場(野菜)など賑やかである。

魚市場は1973年12月にスندا・クラブと改称された。魚は勿論、船具、釣り道具、美しい貝がら、サンゴ、タイマイのはく製を売る店が並んでいる。

市場前の警察署になっている建物は昔のポルトガルの要塞であったものである。又、オランダ統治時代の家具を中心に展示している博物館がある。

5) タンジュン・ブリオク地区

ジャカルタ市の中心地から約10キロメートル東北にあり、ジャカルタの外港、タンジュン・ブリオク港がある。

6) ビナ・リア (BINA RIA) 海岸娯楽センター

コタとタンジュン・ブリオク地区の中間、アンチャール地区にある。一大娯楽センターで夜が賑わっている。ボーリング場、カジノ、ドラ

イブインシアター、ナイトクラブ、モーターもある。

ハイアライ競技も行なわれている。

7) ジャティネガラ地区

ジャカルタ市の東南部で、米のジャカルタへの流入地である。華僑が多い。ジャティネガラ駅の東方にチビナン刑務所がある。

○ ジャカルタ・ボゴール・バイパス

米国の800万ドル借款で建設されたもので、タンジュンプリオクからジャティネガラを経てボゴールに向け、市の東部を南北に貫通している。1961年着工し、1963年完成した。沿道に各種合併企業が建設されており、今後の発展が見込まれている。

○ プロマス競馬場(PULO MAS)

ジャカルタの北部、ジャカルタ・ボゴール・バイパスを港の方へ向う途中にあり、毎日曜の午後レースが開かれている。

8) パッサルミング地区

○ カリバタ英雄墓地

ジャカルタ市の中心より南方約8キロメートルの地点にあり、広さは4万5千平方メートル、1954年11月10日に完成したもので、国家に多大の功績のあった政治家、軍人、文官等1125体が葬られている。宗教の別はない。1965年9月30日事件(共産党によるクーデター)の犠牲者、ヤニ陸相及び、ジュアング元首席大臣、スータン、ジャクリール元首相、1973年12月18日死去した、スマントリ教育・文化相らが含まれている。最近、独立戦争に参加した元日本兵が日本人として初めて埋葬された。

○ 動物園(KEBON BINATANG)

ジャカルタの中心より南方約20キロメートル、パッサル・ミン

グ駅から西へ約5キロメートル、カリバタ墓地から約12キロメートルの地点に動物園があり、休日は、行楽客で賑わっている。動物の種類は多くないが、出来る限り檻に入れず、野生の姿のままを見せている。

○ 日本人学校

ジャカルタ日本人学校は、JL. RAGUNAN NO.1、PASAR MINGGU、JAKARTA SELATANに所在する。生徒児童数は、1974年5月15日現在、小学生(235人)、中学生(26人)、合計261人で、これに幼稚園児(102人)を加えると363人の多数になる。

9) 観光バス

○ モーニングツアー(約3時間)

中央博物館、国民記念塔、大統領官邸、果物市場、ショッピングセンター、スポーツセンター、パティック工場、等を訪問

料金は 1650 Rp 幼児は半額 毎日連航

乗車場は Interhouse Hotel 9.00、Benjamin Hotel 9.05、Asri Hotel 9.15、Kartika Plaza 9.25、Indonesia Hotel 9.30、Asoka Hotel 9.35、President Hotel 9.40、Sabang Hotel 9.45

○ アフタヌーンツアー(約3時間半)

英雄記念像、住宅街、大使館通り、独立宣言場、インドネシア大学、アンチョール地区、タンジュンプリオク地区等を訪問

料金 2500 Rp 幼児半額 毎日連航

乗車場は President Hotel 2.20 PM. Indonesia Hotel 2.30 PM.

○ イーブニングツアー（約4時間）

タマンイスマイルマルズキ、カジノ、ナイトクラブ、（インドネシア料理会）を訪問

料金 7,000 毎日運航

乗車場は、Indonesia Hotel 7.00 PM.

○ ボゴールツアー（約5時間）

訪問先は植物園 料金は 6,250 Rp 幼児半額 申込は2人単位
この他にブンチャックが毎日ある。又、申込めば、バンドンツアーも用意してくれる。

申込場所 Batemuri Tours LTD. Jl. Persatuan 22、
(Branch office, President Hotel)

telp 54912-15

(2) 海水浴場

○ ビナ・リア

前項ジャカルタ案内のビナリアの項参照

ビナリアの一部に海水浴場があり、インドネシア人はかなり沢山水浴を楽しんでいるが、水が汚れており、あまりおすすめ出来ない。むしろ、モーターボート等の船遊び位がよいところであろう。

○ メラック（フロリダビーチ）

ジャワ島、西北端にあり、ジャカルタより約100 km、スマトラ島が対岸にのぞめる。景色の良いところである。水はきれいで、波もおだやかであり、南国の海水浴を十分に楽しめる。宿泊はメラックビーチホテルが唯一のホテルで、設備としてはジャカルタの上流ホテル並みです。食事は高いわりにおいしくなく、ホテルのボーイは手くせが悪いのが多いので、十分注意する必要がある。

宿泊料はシングル17 \$、ツイン20 \$。

土曜、日曜は海岸で泳いでいると、丸木舟がやって来て、舟遊びに誘われる。沖にある無人島へ渡ることも出来る。無人島には珊瑚礁があり、生きている珊瑚や熱帯魚を見ることが出来る。

舟代は1時間300～500 Rp位で交渉が纏まるようだ。

予約申込は

Ranayana City Hotel Jl. Jati Baru 57 45866
52824

Vay Tour プレデントホテル内

○ プラブハンラトウ(サムドラビーチ)

ジャカルタより南へ150 km、インド洋に面した風光明麗な所である。ここにあるサムドラビーチホテルは日本の賠償で建てたホテルインドネシア級の高級ホテルで、泊り心地は抜群である。

しかし、海はいつも波が高く、遊泳禁止の立札が立っているの、浅瀬や砂浜での砂遊び程度とし、水泳はホテルにあるプールで楽しむこととなる。

食事は安くはないが、西洋料理、インドネシア料理を食べさせてくれるし、味はまずまずといえよう。

予約は、ホテルインドネシア内にある代理店に申込むことが出来る。

○ ブロースリブ

ジャカルタの北方海上にブロースリブ(千の島という意味)と呼ばれる大小無数(約130といわれる)の珊瑚礁が散在している。水泳、釣り、スキューバダイビング等楽しめる。主なものは次のとおり。

① ブローアイル(Pulau Air)

タンジュンプリオク港より船で約2時間のところにあり、日帰りも可能。宿泊施設はバンガローがあるだけで、あまり良いとは

いえない。レストランはある。

申込 Kartika Bahari Unit Perkapalan

Jl. Dajak 46, Tanjung Priok tel 291185

② ブローブトリ (Pulau Putri)

タンジュンプリオク港より船で約4時間半、スカイバンという小型飛行機で20分でパンジャン島につき、そこから船で約30分位のところにある。宿泊施設はバンガロー、コテージがあり、なかなか良く、レストランの設備もある。ブロースリップでは最も、有名な観光地である。

宿泊料金 (週末) バンガロー A 48米ドル B 36米ドル

コテージ A 24米ドル B 18米ドル

スカイバン往復 (船賃を含む) 25.5米ドル

予約場所 Putri Skindiving Center

Jl. Kesehatan III - 12 tel

③ ブロームリンジョ (Pulau Melinjo)

ムリンジョ島へは毎月1回、団体の1泊旅行が組まれている。申込は個人でもよいが、一定の人数を纏めて、団体とし、楽団サービス込みである。団体行動のため、食事の時間等は制約を受けるが、島へついてからは、自由時間と各種のサービスを用意している。

料金は、食事、飲物、バス、船賃込み

大人 70米ドル

子供 35米ドル

予約場所 Hotel Monas

Jl. Merdeka Barat 21. tel 43104
43631

(3) ボーリング場

- ホテルカルチカプラザ(地階) 16レーン
- ビナリア 40レーン
- グロドック 20レーン
- パッサールブロックエム 20レーン

料金は、1ゲーム300～400Rp 貸靴50Rp

いつでも待たずにゲームが出来る。

(4) ゴルフ場

- スナヤンゴルフコース 18ホール パブリック

Jl. Asia Africa, Pintu 9. Senayan tel 582508

グリーンフィー 月～金 1,500Rp

土、日、祭日 2,500Rp

- ファットマワティゴルフコース 9ホール パブリック

Jl. Runrah Sakit Fatmawati, Cilandak tel 71238

グリーンフィー 月～金 800Rp

土、日、祭 1,500Rp

- ラワマGUNゴルフコース 18ホール メンバー制 6361ヤード

Jl. Rawamagun tel 82849
83566

- ビナリアゴルフコース 18ホール

- ハリムゴルフコース 18ホール

- サワンガンゴルフコース 9ホール パブリック

グリーンフィー 月～金 1,000Rp

土、日、祭 1,000Rp

○ サワンガンカントリークラブ 18ホール パブリック
 Bogor tel
 グリーンフィー 月～金 1,500 Rp
 土、日、祭 3,000 Rp

○ ボゴール 9ホール パブリック
 メンバー 50,000 同会費 1000
 グリーンフィー 月～金 750 Rp
 土、日、祭 1,000 Rp

(5) 遊園地

○ タマンリアジャカルタ
 ムルデカ広場の東南の一角にある。
 子供用各種乗物がありミニ後樂園といったところ。
 開園 月～金 午後5時～11時
 土 午後5時～12時
 日 午前9時～午後12時

○ タマンリアルマジヤ
 スナヤンの北側、ジャカルタテレビ局に隣接する公園で、タマンリアジャカルタほどではないが、子供用の乗物がある。しかし、広々とした公園でのんびり散歩を楽しむにはこちらの方が良い。又、他があって舟遊びも出来る。

開園 月～土
 日

○ タマンミニインドネシアインダー
 1975年4月にハリム国際空港の裏手に開園したインドネシア公園

である。公園はインドネシア各地方の典型的建築による住宅を配置し、その地方地方の民芸・特産品をはん布している。中央に大きな池があり、池の中にはインドネシア群島を形どった島があり、その上をケーブルカーがとおる等、この公園を見ることによってインドネシアの大わくを理解させようという美しい公園である。

(6) 動物園・植物園

○ 動物園

前項、ジャカルタ案内参照

○ 植物園

ジャカルタの南方約60キロメートルの高原都市ボゴールは、約、335年前に開かれ、気候が涼しく避暑地として知られ、雨量が多い。市の中心部にボゴール宮殿と呼ばれる白亜の建物がある。これは、1745年、当時のオランダ総監 VAN IMHOFF (ファン・イムホフ) が設けた別邸で、戦後大統領の離宮となった。庭園には奈良から移したと云われる鹿が放し飼いにされ繁殖している。この宮殿の附属施設が世界的に著名な熱帯植物園“ボゴール植物園”である。1817年オランダの植物学者、REIN WARDT (レイン・ワルト) によって開園されたもので、面積は、約114万平方メートル、熱帯植物約6千種、総数約5万の植物が集められている。直径1メートルで世界最大の花と云われるラフレシアや大鬼蓮がある。蘭の温室には、1962年美智子妃殿下がインドネシアを訪問された際命名された新種“ミチコ”蘭がある。日曜日以外は自動車ごと入園出来る。

(7) 映画館・その他

○ 映画館

中心街から町はずれまで、至る所にあり、総数約40館といわれて

いる。インドネシア、香港、アメリカ製の映画を常時上映している。

極くたまには日本映画も上映されることがある。

○ ナイトクラブ・バー

ナイトクラブ・バーともに多数あり。

○ カジノ

次の3カ所が市営カジノでルーレット等各種ゲームがある。

Copacabana Bina Ria、Ancol、 tel 271163

New Interational Amusement Center

Jakarta 劇場内、Jl. Thamrin tel 46097

Pix Amusement Center、Jl. Hayam Wuruk tel 22205

○ ハイアライ

インドネシアではハイライという。ピナリアに隣接して、ハイライスタジアムがあり、日曜を除く毎日夜7.30～夜中の2時までやっている。

○ タマン、イスマイル、マルズキ

前項、ジャカルタ案内参照

○ ドックレースおよび競馬

前項、ジャカルタ案内参照

2. 日本人クラブ

ジャカルタには在留邦人相互の親睦、日伊両国の親善、文化交流をはかり、両国間の通商および経済協力に寄与することを目的とした日本人クラブ「ジャカルタ ジャパンクラブ」がある。ジャパンクラブは在留日本人で構成されており、法人部会と個人部会とに分かれている。法人会員は、ジャカルタに事務所を置く日本企業で構成されており、現在105社が会員となっている。個人会員は、ジャカルタに在住する「日本国籍をもつ成

人]であることが資格であり、現在会員数は約750人にのぼる。

クラブハウス Jl. Suwiryo 23 tel 48044

毎週月曜日 休日

会 長 石田 美(東銀 支店長)

クラブハウス内には、ジャバングラブ事務局(事務局員アスリ夫妻)をはじめ、会員のための集会室、日本料理店「葵」があり、又、若干の日本書籍、新聞および麻雀、囲碁の用具が備えつけられている。

なお、会員のため月2回、日本映画が上映されている。

3. スポーツクラブ

インドネシアは東南アジアで最もスポーツの盛んな国である。ジャカルタスナヤン地区に競技場(Senayan Sports Complex)があり(前項ジャカルタ案内を参照)、こゝで各種のスポーツを楽しむことが出来る。

スナヤン競技場の一角にKONI(National Sports Committee of Indonesia、日本の体協に相当)事務所があり、これがインドネシアのアマチュアスポーツの協会である。こゝで相談すれば、各種のスポーツ協会ないしクラブを紹介してくれる。

なお、インドネシア人が最も好むスポーツは、サッカーとバトミントンである。日本人は一般的には、ゴルフとテニスを楽しんでいる。

ジャカルタにあるスポーツクラブ

○アーチェリー	○野球	○バトミントン
○バスケットボール	○ボウリング	○ボクシング
○ビリヤード	○ボート	○サイクリング
○フェンシング	○フィールドホッケー	○フットボール
○ゴルフ	○ハンティング	○スキندайビング
○水 泳	○ピンポン	○テニス

- 陸上競技
- バレーボール
- 水上スキー
- 重量あげ
- レスリング
- 乗馬

その他、空手、柔道、拳法のクラブもある。又、スポーツではないが、コントラクトブリッジやチェスのクラブもある。

附 録

1. ジャカルタ土産

インドネシアの思い出として、又、親しい人への贈物として、一般的な土産品は、ジャワサラサ（パテック）、木彫品、銀製品、錫製品、そして動物のハク製等が喜ばれる。

(1) パティック

パティックは大きくわけてソロ系とブカロンガン系がある。ソロ系は紺、茶、白を基調としたもので、ブカロンガン系は、多彩で模様も派手でありカラフルである。品質は手がき、スタンプ（プリントのようなもの）、両者の組合せのものがあり、当然ながら手書きが高く、スタンプは安い。生地は木綿が一般的であるが、高級品ほど良いものを使っている。

(2) 木 彫

素材は縞黒たん、白ダン、サオーである。産地はバリ島で、沢山の木彫工場があるが、いずれも、小さいものは子供など見習い工の作品なので、良いものを希望する向きは、ある程度大きい高価なものを選ぶ必要がある。

(3) 銀、錫製品

銀製品はジョクジャカルタ、錫製品はバンカ島が本場である。

かざり物、アクセサリー、食器等の製品がある。

(4) ハク製等

亀、山猫、アライグマ、虎等のハクセイ、ワニ皮具、水牛の角細工、竹細工がある。

2. 日本からの土産品

対インドネシア人に対する土産は、所属先に対しては必ずしも必要としないが、関係者にあげておけば、その後の業務遂行に若干プラスはあろう。

いずれにしてもインドネシア人は日本品であれば何んでも喜ぶので相手の地位により、名刺代りのものから若干高価なものまで使い分けたい。

在留邦人に対しては食料品が圧倒的に喜ばれよう。特に日本的なものでジャカルタで入手しにくい生ものが人気がある。

塩鮭、タラコ、カマボコ、納豆

せんべい、カステラ、ドラヤキ、和菓子

ツクダニ、魚の干物、茶、のり

日本酒は好きな人でも暑いところなのであまり飲まない人が多いようだ。又、ウイスキー、タバコは日本よりも安く入手し得るので避けた方がよい。

第3部 インドネシアに対する我国の技術協力実績

昭和49年3月31日現在

形態	区分	農	水	建	重	鉱	軽	化学	公益	運	郵	厚	原子	経営	教	行	そ	累	計	経	費
		業	産	設	業	業	業	業	業	輸	政	生	力	技術	育	政	他				
研修員受入		355	137	106	82	47	167	18	40	284	137	239	54	91	33	248	153	2,191		7,423	89
専門家派遣		100	27	236	21	92	45	17	95	115	37	70		3	19	8	245	1,130		3,504	918
海外協力隊																					

(注) 但し受入、派遣、協力隊の人数については昭和48年度末累計、経費については昭和47年度末累計の数字である。

区分	プロジェクト名	期間	概要	年度	派遣人員数		経費(千円)		
					専門家等	調査団	機材運送実績	派遣費実績	合計
開発調査	カリマンタン森林開発に伴う港湾建設計画調査	35.7~35.9	東カリマンタン地区のラワン材資源開発に伴う積出港の建設計画調査。	35		5			5,476
	ジャカルタ市上水道整備計画調査	38.3	ジャカルタ市上水道施設は人口の増の給水にすぎず、水不足である市の人口増加に合致した拡張計画を作成するための調査。	37		6			4,304
	ラロナ河電源開発計画調査	39.3~39.4	ラロナ河水系を調査し、特に雨期の流域内の氾濫状態流況の観察、スラウェン島の電力需給等の調査。	38, 39		3			2,564
	ポンチャナック橋梁架設計画調査	40.1~40.2	ポンチャナック市を流れる2つの河川に橋がないため同地域の開発にとって重大なネックとなっているためこの河の架橋計画に関する調査。	39		5			3,343
	とりもろこし開発計画調査	42.3	東部ジャワ及び南スマトラのとりもろこし増産開発計画に関し、乾燥方法、貯蔵施設、輸送等についての調査。	41		5			2,481
	スマトラ・ハイウェイ建設計画調査	41.8~41.10	同島の北端Bonda At Jehから南端Pandjangまで2,400kmに亘る幹線道路建設を目標に調査。	41		7			3,607
	ビトン港改善及びスラウエン道路修復計画調査	42.9~42.10	港灣全体計画立案のための調査、自然条件、道路全体計画立案。	42		9			10,642
	東南アジア地域内電気通信網整備計画調査	42.10~42.11	当該7カ国相互間の通信計画基本構想樹立のための調査(台湾、フィリピン、ラオス、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア)。	42		6			4,851
	紙パルプ工業開発拡充計画調査	43.10~43.11	プアマンタル工場等既存の製紙工場を含めて今後のインドネシア製紙工業の開発拡充の可能性について技術、経済、経営及び行政面からの実施調査。	43		3			2,731
	東南アジア6カ国鉄鋼業開発拡充計画	43.6~43.7	当該国に調和のとれた鉄鋼業を建設するための調査(台湾、マレーシア、タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア)。	43		5			12,082

区分	プロジェクト名	期 間	概 要	年度	派遣人員数		経 費 (千円)		
					専門家等	調査団	機材購送実績	派遣費実績	合 計
開 発 調 査	電気事業開発拡充基本 計画基礎調査	43J2~44.3	電気事業の再建基本計画作成のため、諸問題を調査・検討し、当面の短期計画を作成。	43		5		8,304	
		44.4~44.7	電力会社の電力供給地域および将来の供給地域を調査し長期的視野に立った経営上の問題点を分析調査。	44		5		10,116	
	バリト河流域開発計画 調査	45.3~45.4	バリト河流域開発計画策定に必要な基礎調査計画を立案するための予備調査。	44) 45)		6		5,213	
		45.9~45.10		45)		15		23,965	
	紙パルプ工業開発計画 調査	45.6~45.7	紙パルプ工業開発基本計画に関する経済、産業、資源等の現状調査及び将来計画に対する勧告のための調査。			8		13,533	
	漁業振興計画調査	45.7~45.9	サバン、クンダリ、プノア及びクバンクにおける漁業振興計画に関するフィジビリティ調査。	45)		9		15,661	
		46.6~46.7		46)		2			
	資源開発協力基礎調査	45.9~45.12	スラウェン島中部の約15,000km ² の地域の鉱物資源賦存の可能性調査。	45		18		152,079	
	ウラール河浸灌工事計 画	45.9~45.12	北スマトラ州のウラール河の洪水による水害防止のため河口部の堆積土砂の浸灌工事計画のためのフィジビリティ調査。	45		8		16,173	
	マラッカ海峡水路調査	45.9~45.12	海峡における深吃水船舶の航行安全を確保するため危険区域の水深、潮流に関して水路調査を実施し海図を作成。 47年度における精密測量の結果、同海峡における危険区域の約60%に関する精密測量を完了し、測量区域において、4カ所の浅所を発見、加えて沈船一隻発見(インドネシア、マレーシア、シンガポール)。	45)		21		80,242	(44,404)
		47.1		46)		5			
		47.2~47.3		47)		4			
		47.3~47.6		46)		11			
48.9~48.10		47)			4				
48.1~49.2	48)		20						
49.3~49.5	49)								
繊維産業基本計画調査	46.2~46.3	繊維産業全般につき生産供給の実態調査、増産需要の予測を行ない、マスタープランを作成。	45		3		25,150		
鉱工業開発計画基礎調 査	46.3	①チラチャップ〜ジョクジャカルタ間砂鉄開発。②スラバヤルにおける砂糖工場拡張。③ジャカルタ、スラバヤ、チラチャップ、メゾン工業団地計画の策定、の3大プロジェクトに関するフィジビリティ調査。	45		8		10,940		
スラウェン島資源開発 協力基礎調査	46.11~46.12	島の鉱物賦存の可能性を確認し、地質調査及び地形図化を行なう。	46		19		65,495		
	47.9~48.1	東の東部地区のうち4,600km ² にわたり地質調査、地化学探査、物理探査、ボーリング等を行なう。	47		15		64,864		

区分	プロジェクト名	期 間	概 要	年度	派遣人員数		経 費 (千円)		
					専門家等	調査団	機材購送実績	派遣費実績	合 計
開 発 調 査	バリト河流域地形図作成事業調査	46.11~46.12	バリト河流域総合開発マスタープラン策定のための同流域面積6万km ² のうち6,000km ² の航空写真撮影。天文測量、検潮、水準測量、野外調査などの地上測量と調査。 図化及び印刷作業、補備調査、測量ならびに素図のチェック。	46		5		5,349	
		47.8~48.4		47)		40		71,287	
		48.8~48.10 49.1~49.2		48		15		(136,456)	
	ブラントス河水資源開発調査	46.8~46.11	ブラントス河の総合開発計画の策定のための水質気象等を主体とした基礎資料を収集調査し、低高水流量配分計画をつくる。 かんがい水利プロジェクトを主体とする関連調査及び個別プロジェクトの選定。	46		7		30,514	
		48.5		48		3			
		47.8~47.12			10		14,887		
	スラバヤ河改修計画調査	46.12~47.3	スラバヤ河の改修とこれに関連する用水・内水排除等に関する計画策定及び最終報告。	46		13		34,263	
		47.11~47.12 48.3		47		10		38,688	
	経済開発基礎計画調査	47.2~47.5	①マクロモデルによる経済予測。②製造工業品輸出の可能性の検討。 ③輸出市場としての日本市場の分析の基礎的調査。④長期経済予測。	46		6		9,117	
				47		8		21,781	
	内航船舶調査	46.8~46.11	海運産業の総合的計画の樹立にともない計画策定の基礎となる現有船舶等についての基礎的なデータの把握。	46		4		8,060	
	東部ジャワ電力計画調査	46.8~46.11	'72~'85年に電力長期計画の策定に基づく既存の電力施設の調査・電力需要の整理・電源開発計画、送電線計画の策定。	46		5		24,614	
	ボマラ地区ニッケル開発計画調査	47.2~47.3	低品位ニッケル鉱精練計画に関し、その探鉱計画、精練計画、計画の経済性の検討。	46		6		6,075	
ソロ河流域開発計画調査	47.7~48.3 48.4~49.1 48.12 49.2~49.3	ソロ河流域総合開発計画を策定し、個別プロジェクトの優先度を決定するための調査及び詳細現地調査、ファイナル・ドラフト作成等。	47		17		79,432		
			48		19		(119,255)		
ウンブ・ブンクバン地区農業開発計画調査	47.8~47.9	同地区のかんがい計画についてのフィジビリティ調査のほかワイ・シレム地区についての予備調査。	47		7		10,819		
	48.5		48		2				
合成化学繊維工業開発計画調査	47.7~47.8	合成繊維、化学繊維工業等確立のための長期開発計画の策定及び政策立案について同国の繊維事情調査を行ない、報告書を提出。	47		9		22,121		
	48.11~48.12		48		8		(31,501)		

区分	プロジェクト名	期 間	概 要	年度	派遣人員数		経 費 (千円)		
					専門家等	調査団	機材購送実績	派遣費実績	合 計
開 発 調 査	基礎化学工業開発計画 調査	47. 7~47.10	同国の製塩工業及び基礎化学工業の現状と将来性並びにそれに関連する 長期計画を策定するための調査及び報告書の提出。	47		8		15,949	
	西部ジャワ地域水力開 発計画調査	47.10~47.11	長期電力需給及びチタルム水力発電所の開発計画に関する調査。	47		6		4,681	
	鉄鋼業開発計画調査	47.10~47.11	鉄鋼業開発のためのマスタープラン作成のための調査。	47		7		5,258	
	住宅開発計画調査	47.12~48. 2 48. 7	ジャカルタ、スラバヤ両市における人口急増に対処するため、ローコス ト住宅を計画的に大量供給するための諸問題に関して調査し、今後の協 力の方向づけを行なう。	47 48		8 2		4,396 (738)	
	ジャカルタ電話網拡充 計画事前調査	48. 3 48. 8~50. 7 48.12	首都圏の電話網拡充、整備計画のフィジビリティ調査を実施するに当り、 事前調査及び将来計画、5カ年計画及び年度設備計画等を作成。	47 48		3 9		1,269 (69,368)	
	ベラワン港建設計画事 前調査	48. 2~48. 3	スマトラ島北部に位置するベラワン港の整備計画についての修復計画の ための総合基本計画作成の指導。	47		2		1,273	
	東南アジア鉱工業プロ ジェクト選定確認調査	47. 5~47. 6	5カ国についてプロジェクト選定、日本の技術協力の問題点、アジア諸 国に対する共通の調査などについての事前調査(インドネシア、フィリ ピン、シンガポール、マレーシア、タイ)。	47		2		996	
	鉄道高速化計画調査	48. 6~48. 7 48.12	ジャワ島の鉄道高速化についてモデル線を選び、その施設現況を調査す ると共に高速化に対処すべく走行中車輛の振動測定、軌道枕下、横圧測 定を実施し、軌道改善等に関する計画立案のための報告書を作成。	48		9		(6,957)	
	ジャカルタ~メクラ道 路計画調査	48. 9~48.10 49. 1~49. 2	延長約120Kmの道路改良計画のフィジビリティ調査。	48		12		(37,913)	
	中部ジャワ観光開発計 画調査	48. 9~48.11 48.12	ボルブドール、ブランバン、ディエンの3地域につき観光基盤及び施 設に関するマスタープラン作成とPreliminary engineering Study。	48		17		(35,920)	
	ワイラム・アブン地区 かんがい計画予備調査	48.10~48.11 49. 3	スマトラ・ランボン州の同地区のかんがい計画の基礎調査及び同地域開 発の基本構想策定。	48		9		(11,813)	

区分	プロジェクト名	期 間	概 要	年度	派遣人員数		経 費 (千円)		
					専門家等	調査団	機材購送実績	派遣費実績	合 計
開 発 調 査	ジャカルタ漁港・魚市場整備計画調査	48.11~48.12 49.2~49.3	ジャカルタ市のパサル・イカン漁港及び魚市場整備計画のフィジビリティ調査。	48		14		(17,664)	
	ロンボック・マカッサル海峡水路調査	48.11~48.12 49.2~49.4	同海峡の航行安全を確保するため水路調査と海図作成のための適地調査。	48 49		11		(27,742)	
	電子航行援助システム整備計画調査	48.12	同計画に関するマスタープラン作成。	48		5		(2,721)	
	南スラウェシ州中部水資源開発調査	49.1~49.2	同州のテンベ湖周辺地区の開発基本構想策定及び周辺地域の開発計画予備調査、プロジェクト選定など。	48		10		(10,576)	
	石油化学工業開発計画調査	49.1~49.2	UNIDOの援助を得て行なったPhase I の調査に続き、Phase II の調査を行なったもの。内容は石油化学工業の原料調査、石油化学コンプレックスの企業化計画の検討とマスタープラン・ガイドラインの作成等。	48		12		(70,341)	
	東南アジア諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	48.5~48.6	(インドネシア、フィリピン、タイ、ネパール)	48		2		(2,753)	
海 外 セ ン タ ー	インドネシア漁業技術協力計画	44.7.18~ 47.7.17	漁業総局における近代的業務に対する協力。	44 45 46	4 2	1	130,141 16,445 T.146,586		
	インドネシア・スラウェシ工業職業訓練センター	49.2.9~ 54.2.8	職業訓練全般、機械加工、電気木工、建設、自動車整備、板金、溶接。	47 48	2	5 6			

区分	プロジェクト名	期 間	概 要	年度	派遣人員数		経 費 (千円)		
					専門家等	調査団	機材購送実績	派遣費実績	合 計
農 業 協 力	西部ジャワ食糧増産協 力	43. 5.29～ 46.5.28 (延長) 46. 5.29 49.5.28	①ボゴール・ムアラ試験地における優良種子生産、検査、普及計画。 ②スカマンディ国営農場とパッサルミング中央農研農機具部における機 械化訓練計画。 ③チャンジュールの子ヘア農場における総合的農業改善計画に対する協 力。	42					
				43	5				
				44	0				
				45	0				
				46	4				
				47	3				
				48	0				
				タジウム地区農業開発 協力	46. 2.16～ 49. 2.15	中部ジャワ州タジウム地区かんがい事業のパイロットファーム (220ha)に対する協力。	44	0	
	45	0							
	46	6							
	47	0							
	農業研究協力	45.10.23～ 50.10.22	ボゴールの中央農業研究所に対する食用作物保護に関する研究協力。	44					
				45	3				
				46	4				
				47	1				
	ランボン農業開発	47.1.1.4～ 52.1.1.3	ランボン州の総合的な農業開発 ①テキネネンにある農業普及センターを充実強化し、農業開発に資する ための諸活動を行なう。 ②水田地域における稲作振興計画に対する協力(低地農業開発)。 ③高地農業開発。	47	1				
				48	7				
	農業協力合計			42		9		6,193	
43				5	5	107,823			
44					18	35,132			
45				3	10	97,368			
46				14	21	169,777			
47				5	24	222,647			
48	11	13	138,350						

区分	プロジェクト名	期 間	概 要	年度	派遣人員数		経 費 (千円)		
					専門家等	調査団	機材購送実績	派遣費実績	合 計
開発 技術 協力	東部ジャワ州とうもろこし開発協力	42.12.16～	とうもろこしの増産、品質改善、流通機構の整備およびインドネシア国のとうもろこし輸出振興のための協力。	42					5,306
		46. 3.31		43	6			59,287	
		46. 4. 2～		44		6		49,479	
		49. 7.31		45	4	7		74,827	
		(延長)		46	8	5		109,915	
				47		4		111,375	
	ランボン農業開発協力	47.1.1.14～ 52.1.1.13	農業協力の欄参照。	48		6			47,668
				45				5,212	
				46		10		10,736	
				47	3			75,287	
			48	2	6		28,374		

区分	プロジェクト名	実 施 内 容	年度	派 遣 人 員				主 要 機 材	機 材 供 与 支出額(千円)	国内協力機関		
				継 続		新 規						
				短期	長期	短期	長期					
医 療 協 力	西部ジャワ中央総合病院 協力期間： ①昭和43年～昭和45年 ②昭和46年～昭和47年	インドネシア国政府に対する医療協力事業の一環として、バンドン中央総合病院に対して中央臨床検査施設の設置、専門家の派遣及びインドネシア人医師の日本における研修などの事業を当初の目的とした。 昭和43年～昭和45年までに、生理、化学、微生物、血液、細菌等各検査に必要なガラス、麻酔、泌尿器科用機材等の医療器材を供与し、また神戸大学等へ研修員を受入れ、インドネシア人医師を育成することに努力してきた結果、生理検査室、血液検査室、生化学検査室の3部門の運営ならびに体制の確立が成されたため本プロジェクトは昭和45年度にて終了し、以後2年間はフォローアップ的協力を実施した。	43			2	3	5	ガラス、麻酔、泌尿器科用機材	40,522	神戸大学	
			44			3	5	2	10	器科器材		17,859
			45	1	2	3		6	二素子心音計	1,620		
			46	3		1		4	胸部外科器材	0		
			47					0		0		

区分	プロジェクト名	実施内容	年度	派遣人員				主要機材	機材供与 支出額(千円)	国内協力機関	
				継続	新規	計					
				短期	長期						
医療協力	バジャジャラン大学歯学部 協力期間； ①昭和41年～昭和45年 ②昭和46年～昭和47年	インドネシア国政府よりバジャジャラン大学歯学部の口腔外科部門に対する協力要請があり、我が国は昭和41年度より東京女子医科大学助教授の今井忠治口腔外科専門家を3ヶ年派遣し、同部門の協力を開始した。 また、昭和42年度より昭和45年度まで、歯科器材等の機材供与もして、プロジェクト事業として協力を実施、昭和45年度にて本プロジェクトは終了し、昭和47年度までフォローアップ的協力をした。 (昭和41年度派遣人員1名が“継続”となっているのは、海外事業部よりの引継ぎ分。)	41		1		1	歯科器材	3,750	東京女子医大	
			42		1		1		0		
			43		1	1	1	3	口腔外科器材		5,090
			44		1		1		355		
			45		1	1	2		0		
			46		1		1		0		
			47				0		0		
	インドネシア大学付属ジャカルタ中央病院 協力期間； ①昭和47年～昭和49年 ②昭和50年～昭和51年	昭和46年度派遣した調査団の報告に基づき、昭和47年度より臨床検査室整備のため昭和47年～昭和49年の3カ年間の医療協力を実施する予定である。 また、昭和47年度には分光光度計、分析機器等の機材供与を実施した。	47				0	定電圧装置	16,727		
			48			1	2	3	万能自動分析装置		7,882
	アンボン結核対策・マラリア対策 協力期間； ①昭和43年～昭和48年 ②昭和49年～昭和50年	インドネシア国政府は、アンボン島の医療事情改善の一環としてマラリア対策及び結核対策の推進を申し入れてきた。 我が国は昭和45年度より結核に対する協力を進め、結核対策専門家及び衛生検査技師を派遣し、マルク州120万人を対象としたBCG接種等による予防及び調査を行ない、乾燥ワクチン等の緊急機材を供与した。 また、47年度には結核対策用機材として、巡回診療用モーターボート等の機材を供与し、同分野への医療協力を実施している。	43				0	医薬品、外科器材	4,425	厚生省	
			44				0	外科器材、発電機	2,200		
			45			4	4	4	医薬品		2,529
			46			2	2	2	BCGワクチン		11,952
			47					0			2,055
			48					0	医療用X線装置		26,179

区分	プロジェクト名	実 施 内 容	年度	派 遣 人 員				主 要 機 材	機 材 供 与 支出額(千円)	国内協力機関	
				継 続		新 規					計
				短期	長期	短期	長期				
医 療 協 力	家族計画 協力期間； ①昭和44年～昭和48年 ②昭和49年～昭和50年	インドネシア国の人口抑制政策のため、昭和44年度より協力を開始し、自動二輪車および避妊器具等の機材を供与した。またカウンターパートの養成を図るため、(財)家族計画国際協力財団が家族計画指導者セミナーを開催している。本プロジェクトはインドネシア国の家族計画5カ年計画の実施を側面的に支援することを目的としている。	44					0	自転車140台、 自動二輪車	16,133	家族計画国際協力財団
			45					0	避妊器具	13,095	
			46					0	コンドーム	11,824	
			47					0	巡回広報車	16,684	
			48					0	広報用車輛	7,635	

区分	年度	機 材 名	機 材 供 与 先	経 費 (千円)
単 独 機 材 供 与	39	医療関係器具	スリウジャヤ大学・ハサスディン大学	2,766
	40	野ねずみ駆除剤 5トン	農 林 省	1,760
	45	鋳造用機材	メラウケ国営会社鋳造センター	1,871 (134)
	46	地質調査機材	地質調査所	4,019
	47	水資源観測用機材	水資源総局	19,729 (6,939 ⊕12,790)
	"	TV放送機材	ジャカルタTV局	18,441 (4,809 ⊕13,632)
	"	胃がん検診用機材	スラバヤ・エアラング大学	3,372
	"	心臓外科機材	国立心臓研究所	3,639
	48	電力研究機材	中央電力研究所	15,311
	"	水産市場開発機材	テガール水産プロジェクト	18,555
"	放送機材	情 報 省	4,013	
"	水資源観測用機材	水資源総局	5,786	

注；()は翌年度支出経費で
外敷である。

第4部 海外事務所等連絡先

ジャカルタ海外事務所

Jakarta Office,
Japan International Cooperation Agency,
c/o Embassy of Japan,
24, Jalan Thamrin, Jakarta,
INDONESIA

在インドネシア大使館

Embassy of Japan, 24 Jalan Thamrin,
Jakarta, INDONESIA
電話 50061, 50065
電略 NIHONTAISI JAKARTA

在ジャカルタ総領事館

事務所は大使館と同じ
電略 RYOJI JAKARTA

在メダン領事館

Consulate of Japan, No. 49,
Jalan Kapitan Patimura,
Medan, Sumatra, INDONESIA
電話 20951, 25360
電略 RYOJI MEDAN

在スラバヤ領事館

Consulate of Japan, Jalan

Sumatra 93, Surabaya ,
INDONESIA

電話 DARMO 8036

電略 RYOJI SURABAYA



111